TOSHIBA

東芝ポータブルDVDプレーヤー取扱説明書

形名 **SD-P1700SJ**

Li-ion

- このたびは東芝ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのポータブルDVDプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 最初に安全上のご注意をお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中に画面に「⊘」が表示されることがあります。
「⊘」が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン番号について

本機のリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように2が含まれているか、または ALL が表示されていないと、本機では再生できません。（このとき画面に表示が出ます。）

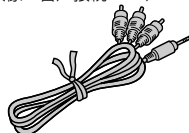
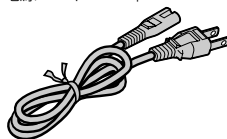
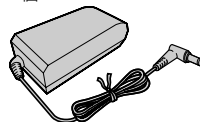
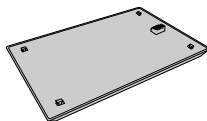
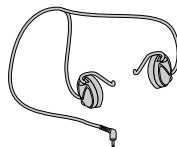
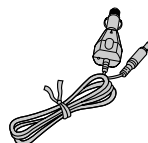
本機のおもな機能について

- DVDビデオディスク、ビデオCD、音楽CDを再生することができます。
- CD-RやCD-RWなどのディスクや、SDメモリーカード、マルチメディアカード、メモリースティック、xDピクチャーカードに記録したMP3/WMAオーディオファイルやJPEGファイルの再生をすることができます。
- 本機に内蔵されたテレビチューナーで、テレビの視聴ができます。

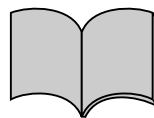
付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン×1個
コイン型電池(CR2025)×1個

AV入力出力端子専用
映像・音声接続コード×1本

電源コード*×1本

ACアダプター(ADPV16A)*×1個

バッテリーパック*×1個

ヘッドホーン×1個

アンテナ×1本
(アンテナ変換プラグ×1個)

カーアダプター*×1個

キャリングケース×1個

取扱説明書×1冊

*• ACアダプターと電源コードは、付属のもの以外は使用しないでください。
• ACアダプターと電源コードは、本製品以外には使用しないでください。
• バッテリーパックは、付属もの以外の使用と、本製品以外には使用しないでください。
• カーアダプターは付属のもの以外の使用と、本製品以外には使用しないでください。

もくじ

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

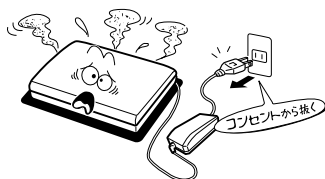
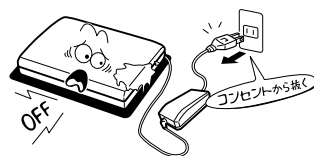
*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“⃠”は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠警告

■煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。

■内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

プラグを抜け

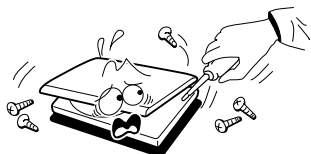
■電源コードが傷んだり、プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

プラグを抜け

ご使用になるとき

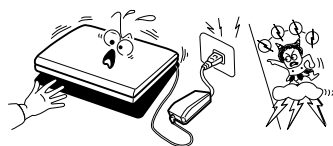
⚠警告

■修理・改造・分解はしないこと
火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■内部に異物を入れないこと
ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

異物挿入禁止

■雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと
感電の原因となります。

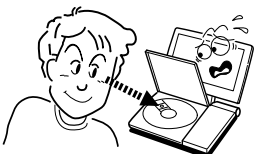
接触禁止

■水にぬらしたりしないこと
火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

■航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従うこと
航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

指　示

■ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないこと
本機は通常、レーザー光を見られないようになっています。万が一故障や異常によって、レーザー光が発光された場合に見つめたりすると、視力障害の原因となります。

禁　止

■歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないこと
交通事故の原因となります。

禁　止

■車の中などで使用するとき、窓から付属のアンテナを出さないこと
他の人にけがを負わせる原因となります。

禁　止

ご使用になるとき

⚠注意

■**ふたを閉めるとき、手を入れないこと**
手をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁　止

■**ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと**
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

禁　止

■**ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと**
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁　止

■**回転中のディスクには触れないこと**
ふたを開いたとき、ディスクの回転が完全に停止していないことがあります。回転しているディスクに触れると、けがや故障の原因となります。

禁　止

■**電源を入れる前には音量を最小にすること**
電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

指　示

■**画面が破損し、液体がもれてしまった場合は、液体を吸い込んだり、飲んだりしないこと**
中毒を起こすおそれがあります。
万一口や目にはいってしまった場合は、水で洗い流し、医師の診察を受けてください。手や服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

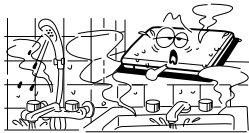
禁　止

設置されるとき

⚠警告

■屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと

火災・感電の原因となります。

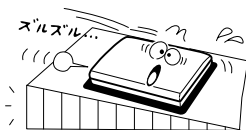
風呂、シャワー室での使用禁止

■上にものを置かないこと

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

上載せ禁止

■ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

本機が落ちて、けがの原因となります。

禁 止

■ひざの上などで使用しないこと

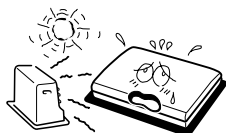
本機は多少温度が上がります。ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。
低温やけどは、体温より高い温度のものを長時間あてていると紅斑、水疱等の症状をおこすやけどのことです。なお、自覚症状をともなわないで低温やけどになる場合もありますので、特に肌の弱い方はご注意ください。

禁 止

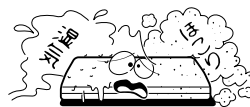
⚠注意

■温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁 止

■湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁 止

■風通しの悪い場所に置かないこと

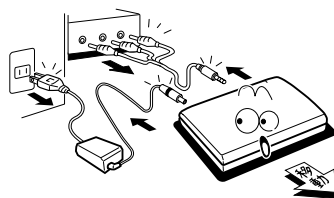
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- 壁に押しつけないでください。

禁 止

■移動させる場合は、ACアダプター・カーアダプター・外部との接続コードをはずすこと

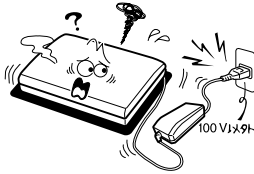
ACアダプターやカーアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が落下し、けがの原因となることがあります。

指 示

ACアダプターと電源コードについて

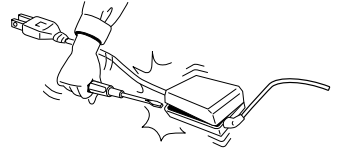
⚠警告

■電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

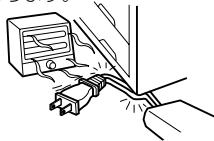
指　示

■ACアダプターを分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。

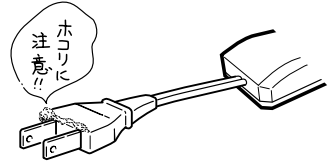
分解禁止

■電源コードは

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**

火災・感電の原因となります。

禁　止

■時々電源プラグを抜き、刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

指　示

■通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと

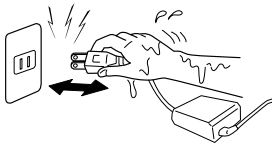
火災、故障の原因となることがあります。

禁　止

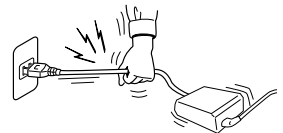
⚠注意

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

■電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

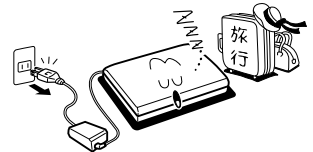
引っ張り禁止

■ACアダプターと電源コードは、付属のものを使用すること

指定以外のACアダプター、電源コードを使用すると、火災・故障の原因となります。付属の電源コードは国内向けです。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合した電源コードをご使用ください。

指　示

■旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

プラグを抜け

■付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

禁　止

■電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

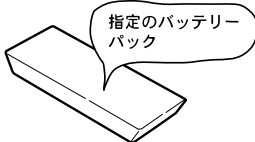
指　示

バッテリーパックについて

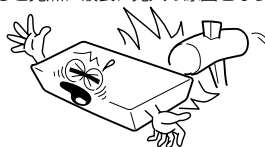
⚠危険

■指定されたバッテリーパックを使用すること

指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。

指　示

■バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないこと

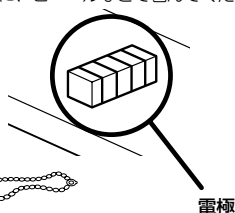
電極がショートすると発熱、破裂、発火の原因となります。

禁　止

■バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入したりしないこと

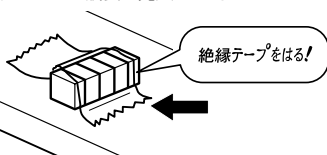
破裂・火災の原因となります。

禁　止

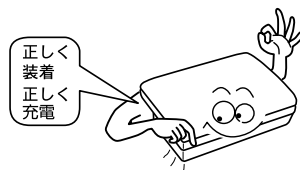
■バッテリーパックの電極(＋端子と－端子)を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり、保管しないこと

電極がショートすると、発熱、破裂、発火の原因となります。
バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。

■不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。
お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼ること

電極がショートすると、破裂、発火のおそれがあります。

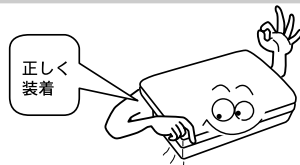
指　示

■バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないこと

破裂、発火の原因となります。

指　示

⚠注意

■バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること

正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

指　示

コイン型電池について

⚠警告

■コイン型電池は、幼児の手の届く場所に置かないこと

コイン型電池をお子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

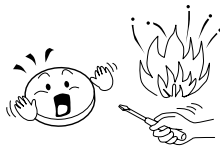
禁　止

⚠注意

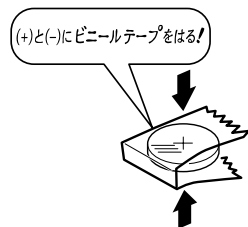
■リモコンに使用しているコイン型電池は

- **●指定以外の電池は使用しないこと**
- **●極性表示[(+)と(−)]を間違えて挿入しないこと**
- **●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中へ入れないこと**
- **●表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかないこと**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときはすぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

禁　止

■コイン型電池を破棄する場合は、(+)と(−)にそれぞれビニールテープなどをはること

そのまま破棄すると、金属類でのショートによって、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。
廃棄する場合は、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。

指　示

■開封したコイン型電池を保管・携帯するときは、ポリ袋などに入れること

そのまま保管・携帯すると、金属類でショートして、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。

指　示

カーアダプターについて

⚠危険

■走行中は、使用しないこと
交通事故の原因となります。

■エアバッグの動作を妨げる場所に置かないこと
エアバッグシステムが正常に動作せず、事故の原因となります。

■運転者の視界を妨げる場所に置かないこと
交通事故、けがの原因となります。

■運転操作の妨げになる場所や、運転装置に触れる場所に置かないこと
交通事故の原因となります。

⚠警告

■コード類がシートのレールやドア、窓などの可動部分にはさまれないようにすること
コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。

■分解・改造はしないこと
火災、感電の原因となります。
シガーライターソケットやその周辺も改造して使用しないでください。

⚠注意

■カーアダプターは指定のポータブルDVDプレーヤー以外に使用しないこと
発煙、火災、感電の原因となります。

■ポータブルDVDプレーヤー本体にバッテリーパックを取り付けて、カーアダプターで充電しないこと
発煙、火災、感電の原因となります。
また、車のバッテリー等への影響が発生します。

■24V車で使用しないこと
カーアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。これを守らないと、火災の原因となります。カーアダプターを使用するときは、必ず車の取扱説明書をよくお読みください。

■ぬれた手でカーアダプターをシガーライターソケットに抜き差ししないこと
また、液体をこぼしたりしないこと
感電の原因となります。

■通電中のカーアダプターに長時間触れないこと
カーアダプターの温度が上がるため、長時間皮膚に触れていると、低温やけどなどの原因となります。使用後のシガーライターソケットは熱くなっていますので、注意してください。

■カーアダプターを使用するときは、カーアダプターのプラグはシガーライターソケットに、カーアダプターのプラグはポータブルDVDプレーヤー本体の電源入力端子にしっかりと差し込むこと
これを守らないと発煙、火災の原因となります。

キャリングケースについて

⚠危険

■**走行中は、取りはずすこと**
急停車などのときにぶつかって、けがの原因となります。

■**エアバッグの動作を妨げる場所に置かないこと**
エアバッグシステムが正常に動作せず、事故の原因となります。

■**運転者の視界を妨げる場所に置かないこと**
交通事故、けがの原因となります。

■**運転操作の妨げになる場所や、運転装置に触れる場所に置かないこと**
交通事故の原因となります。

⚠警告

■**キャリングケースのベルトを首などにかけないこと**
窒息、けが原因となります。

■**キャリングケースをかぶらないこと**
窒息、けがの原因となります。
特にお子様がいるときはご注意ください。

⚠注意

■**キャリングケースのベルトを持ってふりまわさないこと**
けがや破損の原因となります。

■**キャリングケースを車に装着して使用するときは、キャリングケースのベルトをしっかり固定させること**
けがや破損の原因となります。

■**キャリングケースにポータブルDVDプレーヤー本体を入れて持ち運ぶときは、チャックをしっかりとしめること**
ポータブルDVDプレーヤー本体が落ちて、けがや破損の原因となります。

使用上のお願い

取扱いに関すること

■ 液晶画面に衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
■ ピックアップレンズ(ふたの中にあるレンズ)の清掃はしないでください。市販されているクリーニングキットも使用しないでください。機能に支障をきたす場合があります。
■ ピックアップレンズに触れないでください。機能に支障をきたす場合があります。
■ 移動させるとき
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
■ 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
■ 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
■ ふだん使用しないとき
必ず、ディスクを取り出し、電源ボタンを切っておいてください。
■ 長期間使用しないとき
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

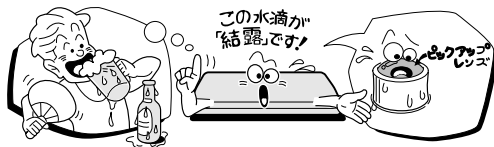
■ 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
■ 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、温度が高くなる場所に置かないでください。
故障の原因となります。
■ 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

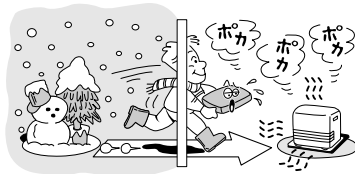
お手入れに関すること

■ 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
■ 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布でふきとってください。

結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを"結露(露付き)"といいます。

■ "結露"はこんなときおきます。

● 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
● 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
● 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
● 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■ 結露がおきそうなときは、本機をすぐに使用しない

結露がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、ACアダプターを接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2～3時間で水滴をとります。

使用上のお願い（つづき）

レーザー製品の取扱いについて

- 本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。（本製品は、液晶表示部に使用している蛍光管には水銀が含まれています。）

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的（ふずいてき）な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

ディスクの取扱いと用語

ディスクの取り扱いかたなどについて説明します。

再生できるディスク

本機では、以下のディスクを再生することができます。

ディスク	マーク（ロゴ）	ディスクの大きさ	内容
DVD ビデオディスク	DVD VIDEO / DVD VIDEO	12cm/8cm	•映像(動画)+音声
DVD-RW ディスク	DVD RW	12cm	•映像(動画)+音声(Videoモード)* •映像(動画)+音声(VRモード)* *ファイナライズ処理がされたもの
DVD-R ディスク	DVD R R4.7	12cm	•Video+Audio(DVD Video format)* *ファイナライズ処理がされたもの
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD	12cm/8cm	•映像(動画)+音声
音楽用 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	12cm/ 8cm(CD シングル)	•音声
CD-ROM	COMPACT disc	12cm	•音声 (MP3/WMAファイル) •静止画(JPEGファイル)
CD-R/RW ディスク	COMPACT disc ReWritable	12cm	•Audio (CD-DA や MP3/WMA ファイル) •静止画 (JPEG ファイル) * VIDEO CD（ビデオCD）フォーマットのディスクも再生できます。ただし、ディスクによっては再生できないものもあります。

- 上記以外のディスクは再生できません。
- 上記のマークが表示されていても、データの作り方やディスクの状態など、ディスクによっては再生できない場合があります。
- 上記のマークが表示されていても、DVD−RAMや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のTV方式(PAL、SECAM)表示のディスクには使用できません。

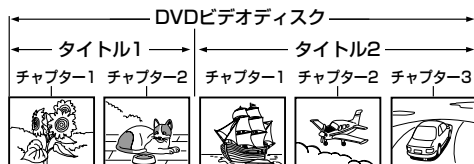
■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。(PBCとはPlayback（プレイバック） Control（コントロール）の略です。)
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD (バージョン1.1)	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC付きビデオCD (バージョン2.0)	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(メニュー再生)。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクの取扱いと用語（つづき）

ディスクに関する用語について

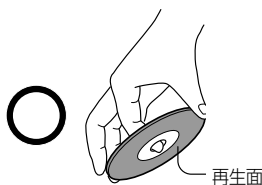
一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タイトル：　DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。

トラック：　ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

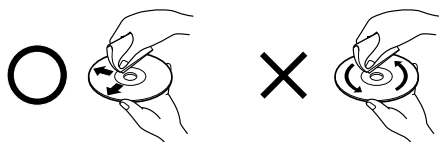
それぞれのタイトル、チャプターやトラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取り扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。
  たとえば、図のように持ってください。

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

- ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
  専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

再生できるメモリーカード

本機で再生ができるメモリーカードは以下のとおりです。

カード	マーク（ロゴ）	記録内容
SD メモリーカード		• 映像（静止画/JPEGファイル） • 音楽（WMA、MP3）
マルチメディアカード		• 映像（静止画/JPEGファイル） • 音楽（WMA、MP3）
メモリースティック		• 映像（静止画/JPEGファイル） • 音楽（WMA、MP3）
xD-ピクチャーカード		• 映像（静止画/JPEGファイル） • 音楽（WMA、MP3）

- SDロゴは商標です。
- MultiMediaCard™は、独Infineon Technologies AGの商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）にライセンスされています。
- 「メモリースティック」およびMEMORY STICKロゴは、ソニー株式会社商標です。
  ※「メモリースティックPRO」および「メモリースティックDuo」は、本機ではご使用になれません。
- xDロゴ、xD-Picture Card™ は商標です。

メモリーカードについて

メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。

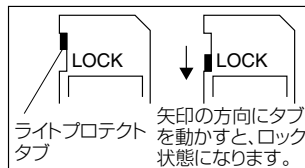
■ 記録画像について

- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの補償、およびこれらに関わるその他の直接·間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードの取扱いかたについては、各取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破壊(消滅)することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破壊(消滅)することがあります。記録されたデータの破壊(消滅)については、故障や損害の内容·原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 取扱い上のご注意

- ● メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。
- ● メモリーカードへの書込み、読出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- ● メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- ● 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- ● 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- ● メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。よごれは乾いたやわらかい布でふいてください。
- ● メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。
- ● 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。
- ● ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- ● 本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
- ● メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

■ SDメモリーカードの誤消去防止について

- ● たいせつなデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

■ メモリースティックについて

本機では、著作権保護技術「MagicGate」や、高速データ転送に対応したメモリースティックは使用できません。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律で禁止されています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

各部のなまえ

くわしくは、なまえの内のページをご覧ください。

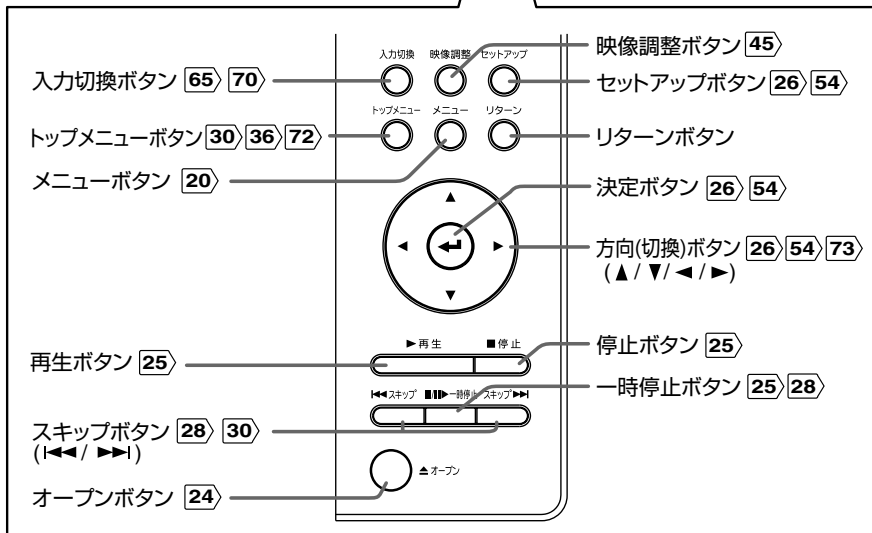
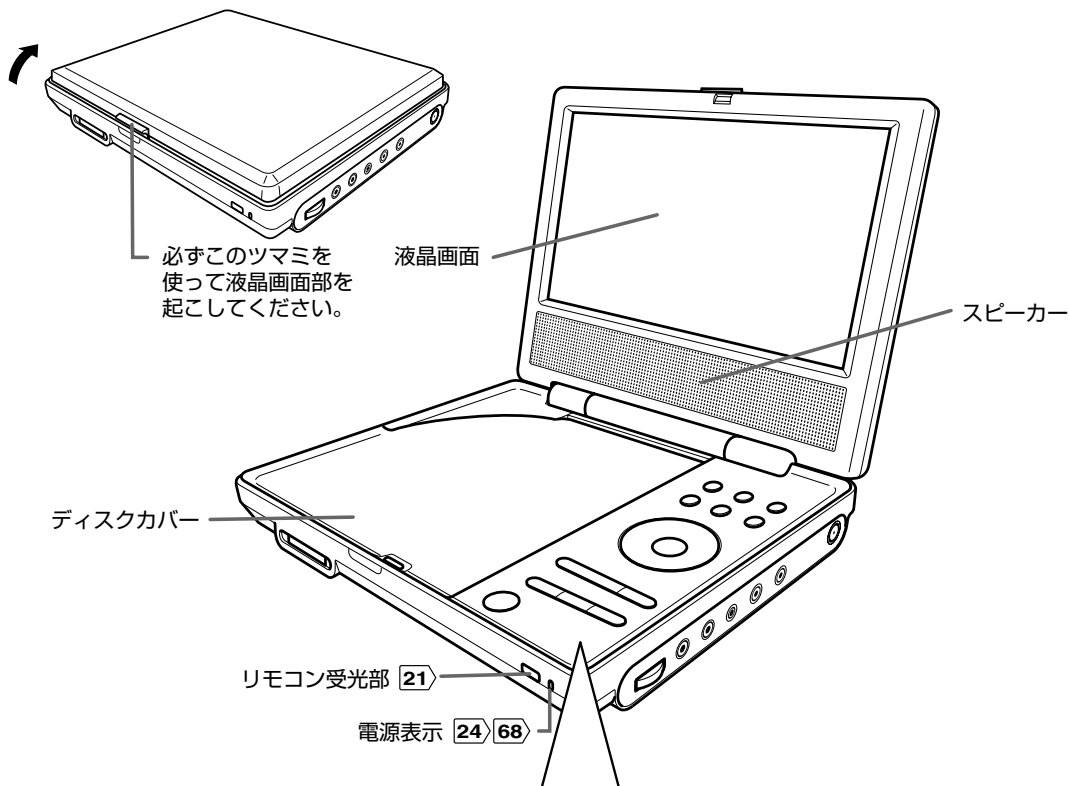
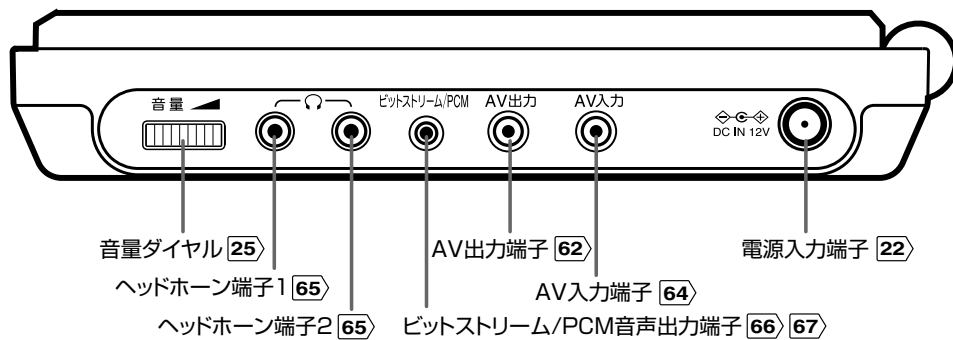
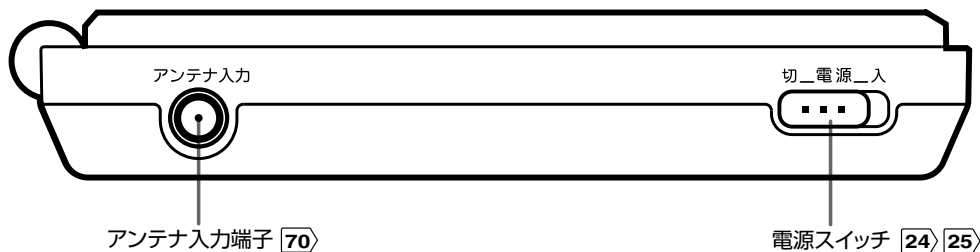
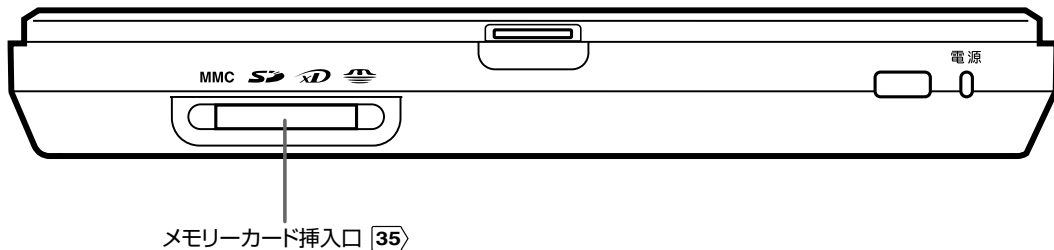
全体

側面

アンテナ入力
切＿電源＿入
アンテナ入力端子 70
電源スイッチ 24 25

音量
ビットストリーム/PCM
AV出力
AV入力
DC IN 12V
音量ダイヤル 25
ヘッドホーン端子1 65
ヘッドホーン端子2 65
AV出力端子 62
AV入力端子 64
ビットストリーム/PCM音声出力端子 66 67
電源入力端子 22

前面

MMC
電源
メモリーカード挿入口 35

各部のなまえ（つづき）

本文の操作説明はおもにリモコンを使っています。くわしくは、なまえの〈 〉内のページをご覧ください。

リモコン

メニューボタン1)
入力切換ボタン 65 70 /
表示ボタン* 50 74
トップメニューボタン 36
字幕ボタン 47
音声ボタン 48
一時停止ボタン 25 28
停止ボタン 25
早戻しボタン 28 /
スローボタン* 29
方向ボタン 54
(▲ / ▼ / ◄ / ►)
スキップボタン 30
番号ボタン 31 /
+10ボタン*
シフトボタン

音場効果ボタン 44
セットアップボタン 54
映像調整ボタン 45
アングルボタン 46
ズームボタン 43
リターンボタン/
クリアボタン* 31
再生ボタン 25
早送りボタン 28 /
スローボタン* 29
決定ボタン 26 54
Tボタン 31 /
TV-CATVボタン* 72
メモリーボタン 41 /
微調整ボタン* 74
リピートボタン 40
A-Bリピートボタン 40
ランダムボタン 42

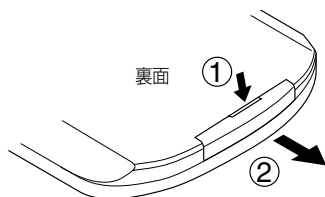
入力切換/表示
セットアップ
トップ メニュー
メニュー
音場効果
映像調整
音声
字幕
アングル
ズーム
一時停止
停止
再生
リターン
クリア
▲チャンネル/サーチ
スロー
早戻し
早送り
決定
スキップ
▼チャンネル/サーチ
TV-CATV
T
メモリー/微調整
リピート
シフト
ランダム
A-Bリピート
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10

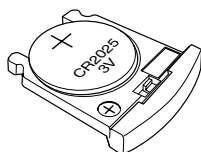
「*」のボタン
シフトボタンを押しながら、そのボタンを押すと働きます。

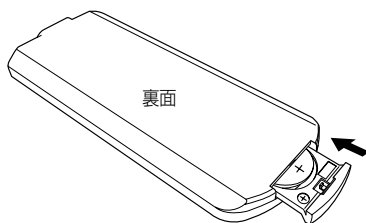
1) メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューで頭出しする」 30 と同様の手順で行います。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

イラスト上で色が付いているボタンは、テレビを見るときに使います。

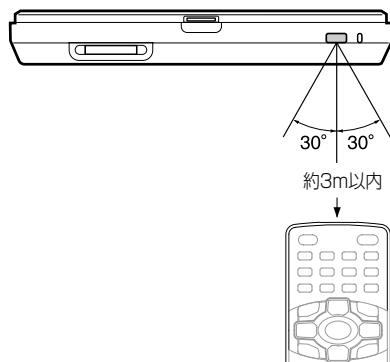
コイン型電池の入れかた

1 ツメを矢印①の方向に押しながら、電池ケースを矢印②の方向に引き出す

指先や爪を傷めないようご注意ください。

2 コイン型電池CR2025の ⊕ 面を上にして、コイン型電池ケースにはめこむ

コイン型電池がコイン型電池ケースから落ちないようご注意ください。

3 コイン型電池ケースを押しこむ

■ コイン型電池について
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しいコイン型電池と交換してください。
- コイン型電池の安全上の注意は、10をご覧ください。
- 指定以外のコイン型電池、または異物を挿入するとリモコンの故障の原因となります。

リモコンで操作するには

本体のリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押す

距離：リモコン受光部正面から約3m以内です。
角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内です。

- リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

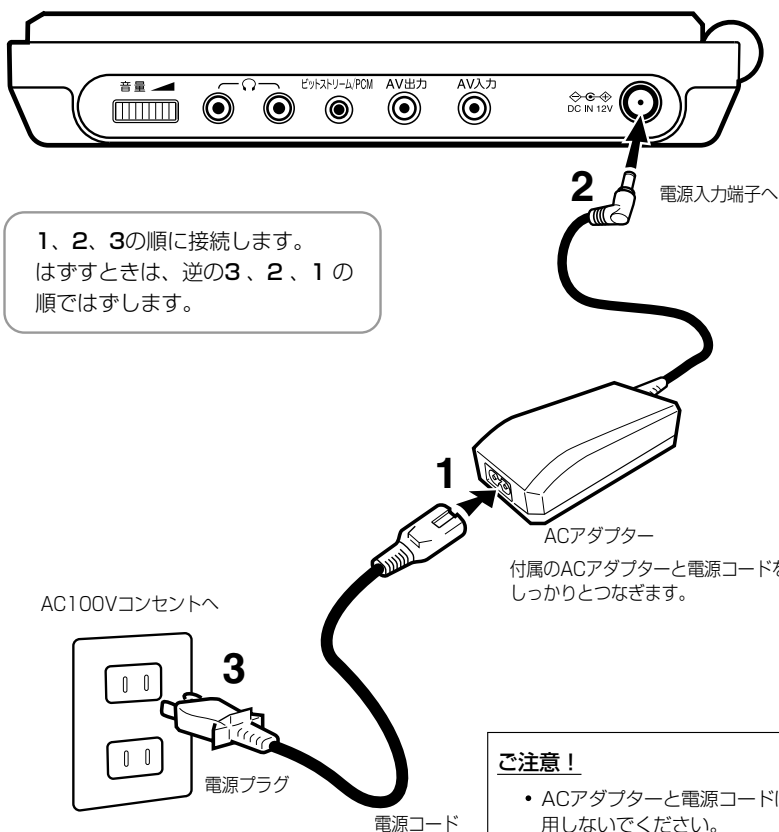
■ リモコンについて
- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。

ACアダプターの接続

ACアダプターを接続します。

付属のバッテリーパックを使うと、屋外でも使用できます。

バッテリーパックの取り付けかたは、68をご覧ください。

⚠警告

- **電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること**
  交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと**
  感電の原因となることがあります。
- **付属のACアダプターと電源コードを使用すること**
  指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。

通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
持ち運ぶときは、電源プラグを抜き、温度が下がってから行ってください。

ご注意！

- ACアダプターと電源コードは、付属のもの以外は使用しないでください。
- ACアダプターと電源コードは、本製品以外には使用しないでください。

再生（基本編）

画像を映してみましょう。

- ディスクの再生
- いろいろな速さの再生
- 頭出しサーチ
- MP3/WMAオーディオファイルの再生
- JPEGファイルの再生

本書について
- 操作手順はおもにリモコンのボタンで説明していますが、リモコンと同じ名称の本体ボタンも同じように使えます。

ディスクの再生

ディスクを再生します。

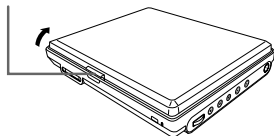
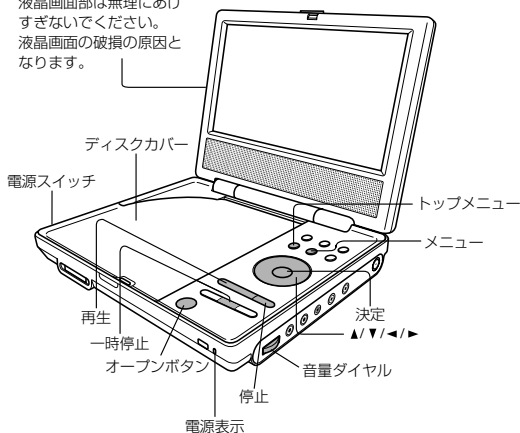
〉 内の数字は本取扱説明書のページを示しています。
説明中に 〉 があるときは、そのページをご覧ください。

⚠注意

- **回転中のディスクに触れないこと**
  けがや故障の原因となります。
- **ふたを閉めるとき、手を入れないこと**
  手をはさみ、けがの原因となることがあります。
- **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと**
- 再生中に本機を傾けたり、揺らしたり移動させたりしないでください。ディスクを傷めてしまいます。

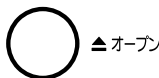
DVD-V VCD CD ディスクを再生する

■ 準備

- ACアダプター 22〉またはバッテリーパック 68〉を接続します。
- テレビやモニターに接続して映像を楽しむときは、接続した機器の電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選びます。
- 音声をオーディオ機器で楽しむときは、オーディオ機器の電源を入れて、本機を接続している入力に切り換えます。
- リモコンをお使いになる前に、リモコンに電池を入れてください。21〉
- ヘッドホーンをお使いになるときは、「ヘッドホーンの接続」をご覧ください。65〉
- はじめてお使いになるときは、ディスクカバー内にある保護シートを取り出してください。

1 電源を入れる

電源スイッチを「入」にスライドさせます。

本体の電源がはいり、電源表示が緑色に点灯します。

2 ふたをあける

▲ オープン

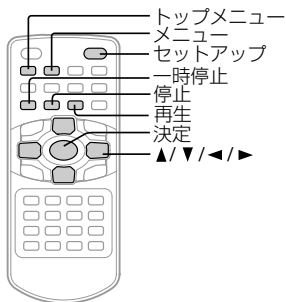
本体のオープンボタンを押します。
ディスクカバーがあきます。

ディスクカバーは決まった範囲以上にあけることはできません。それ以上は無理にあけようとしないでください。破損の原因となります。

3 ディスクをはめる

再生面を下にして、カチッと音がするまでディスクの中央付近を指で確実に押します。
はめかたが不完全だとディスクが認識されず、正常な再生ができません。また、ディスクを傷つける原因になります。

4 ふたを閉める

右手前のクローズの表示付近を押して閉めます。

■ より見やすくお楽しみいただくために（テレビに接続時）

DVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整（シャープネス）を下げると、見やすくなります。

■ DVD-V VCD CD について

この取扱説明書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表わしています。

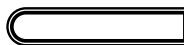
DVD-V：DVDビデオディスク

VCD：ビデオCD　　CD：音楽用CD

5 再生を始める

►再生

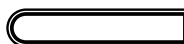
再生ボタンを押します。

再生 ►

DVD-V トップメニューが記録されたDVDビデオディスクや、プレイバックコントロール（PBC）付きビデオCD 15 を再生したときは、メニュー画面が表示されます。「トップメニューで頭出しする」をご覧ください。30

- ディスクメニュー画面は、トップメニューボタンや、メニューボタンを押して表示させる場合があります。（DVDビデオディスクによって異なります。）

■ 停止状態から再生を始める

再生ボタンを押す

►再生

お願い

- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを入れないでください。
- 再生が終わったあと、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。テレビに接続してご覧の場合、メニュー画面などの静止画面が長く続くと、画面に焼き付きが生じることがあります。必ず停止ボタンを押して、再生を終了してください。

ご注意！

移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の再生ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。

■ スピーカーとヘッドホーンの音量を調節する

音量ダイヤルで調節する

音量

右：音量を上げる
左：音量を下げる

■ 再生を一時停止する（静止画再生）

再生中に、**一時停止**ボタンを押す

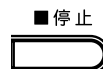
II/II►一時停止

普通の再生に戻すには、**再生**ボタンを押します。

- 静止画再生中は、音声は再生されません。

■ 再生を止める

停止ボタンを押す

■停止

本機は、再生が停止した箇所を記憶します。記憶を消去したい場合は、停止ボタンを再度押します。29

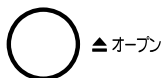
停止 ■

■ 電源を切る

電源スイッチを「切」へスライドさせる

切 電源 入

■ ディスクを取り出す

本体の**オープン**ボタンを押し、ディスクカバーをあける

ディスクが完全に停止してから、ディスクのふちを静かに持ち上げてディスクホルダーからはずします。
ディスクを取り出したあとは、ディスクカバーを閉めます。

⚠注意

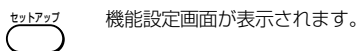
長時間の再生のあとで、ディスクホルダーの中央部に触れないこと
ホルダーの中央部が熱くなっていることがあります。ディスクを取り出すときは十分注意してください。

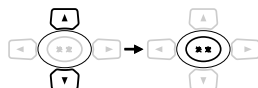
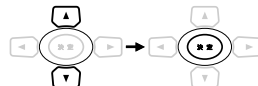
ディスクの再生(つづき)

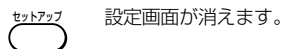
ディスクを再生する(つづき)

■ 画面表示言語の変更のしかた

1　停止状態で、**セットアップ**ボタンを押す

機能設定画面が表示されます。

2　◄ / ► ボタンを押して「(言語メニュー)」を選び、 **決定**ボタンを押す

3　▲ / ▼ ボタンを押して「画面表示言語」を選び、**決定**ボタンを押す

4　▲ / ▼ ボタンを押して言語を選び、**決定**ボタンを押す

5　**セットアップ**ボタンを押す

設定画面が消えます。

■ スクリーンセーバー(焼付き防止機能)について

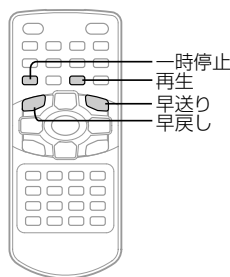
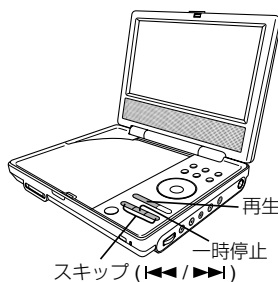
テレビなどに接続して使うときに、テレビの画面を保護するための機能です。(焼付き防止を保証するものではありません。)
ディスクが入っていない状態や停止状態がおよそ20分程続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます(「スクリーン・セーバー」を「オン」に設定しているとき 59)。スクリーンセーバーを解除するときは、本体またはリモコンのボタンのどれかを押してください。

■ オートパワーオフ機能

停止状態やスクリーンセーバーが約20分間続くと、電源が切れます。
再度お使いのときは、一度電源スイッチを「切」にスライドさせてから、「入」にスライドし直してください。

■ 液晶画面について

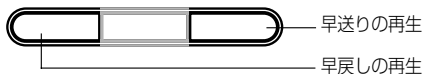
- カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でもなくすことは困難ですので、ご了承ください。
- 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります(寿命の目安は、常温で連続使用時約10,000時間です)。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。
- 液晶画面は、見る角度によって微妙に明るさなどが変わります。きれいに見える角度に調節してご覧ください。
  (なるべく画面に対して直角になる位置から見ることをおすすめします)

普通の再生以外に、違った速さで再生したり、途中で中断した続きから再生することができます。

DVD-V VCD CD 早戻し、早送りで再生する

再生中に、リモコンの早戻し／早送りボタンを押す

早戻し：早戻しの再生
早送り：早送りの再生

早送りまたは早戻しの再生に変わってからは、押すたびに再生する速さが切り換わります。

再生中に、本体のスキップボタンを押し続ける

早送りまたは早戻しの再生に変わってからは、押すたびに再生する速さが切り換わります。

■ **普通の再生に戻すには**

再生ボタンを押す

お知らせ

- DVDディスクでの早戻し、早送り再生中は、音声と字幕（副映像）は再生されません。
- 早送り、早戻しの速さはディスクによって異なります。
- 本機はDVD-RW（VRモード）ディスクの再生※に対応していますが、ディスクの作成方法、ディスク内のタイトルやディスクの状態などによっては、再生や早送り／早戻しなどが正しく行なえないことがあります。

※ファイナライズ済みのディスクに限ります。

DVD-V VCD CD コマ送りで再生する

一時停止（静止画再生）中に、一時停止ボタンを押す

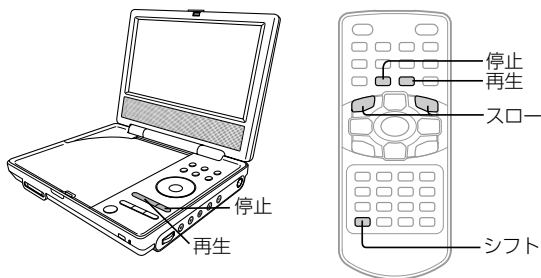
一時停止 II/II▶

押すたびに、画像をコマ送りします。

■ **普通の再生に戻すには**

再生ボタンを押す

お知らせ

- コマ送り再生中は、音声は再生されません。

DVD-V VCD CD スローモーションで再生する

再生中に、シフトボタンを押しながらスローボタンを押す

押すたびに、スローモーションの速さが切り換わります。

再生中に、シフトボタンを押しながらスロー(◀◀)ボタンを押すと、戻し方向のスローモーションで再生します(DVDビデオディスク再生時)。
押すたびに、スローモーションの速さが切り換わります。

■ **普通の再生に戻すには**

再生ボタンを押す

お知らせ

- スローモーションで再生中は、音声は再生されません。
- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。

DVD-V VCD CD 中断したあとの続きを再生する(続き再生)

1 再生を中断する位置で停止ボタンを押す

中断した位置を本機が記憶します。

2 再生ボタンを押す

再生を中断した位置から再生が始まります。

■ **続き再生をしないで始めから再生するには**

1 **停止**ボタンを2回押す

続き再生が解除されます。

2 **再生**ボタンを押す

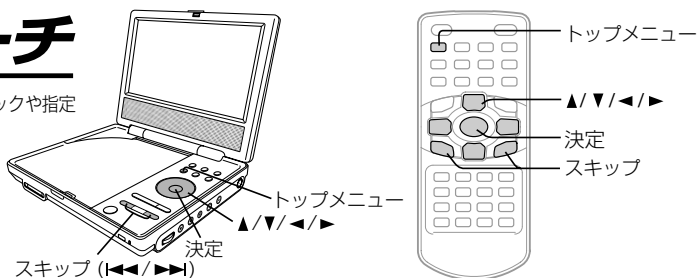
ディスクの始めから再生されます。

電源を切り、再度電源を入れたときも、ディスクの始めから再生が始まります。

お知らせ

- 次のときは、続き再生の機能が働きません。
  - PBC付きビデオCDを、「PBC」を「オン」の設定で再生しているとき 59
  - 電源を切ったとき
  - ディスクカバーをあけたとき
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。

頭出しサーチ

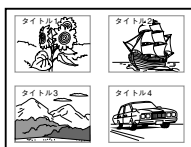
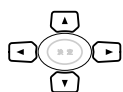
再生したいタイトル、チャプター、トラックや指定した箇所を、簡単に頭出しできます。

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。ビデオCD/音楽用CDは、「トラック」で区切られています。指定のタイトル、チャプター、トラックに頭出しできます。

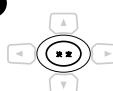
DVD-V VCD CD トップメニューで頭出しする

1 トップメニューボタンを押す

トップメニュー

トップメニューが表示されます。

例

2 ▲/▼/◄/► ボタンを押して、再生したいタイトルを選ぶ

トップメニューの各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

3 決定ボタンを押す

選んだタイトルのチャプター1から再生が始まります。

お知らせ

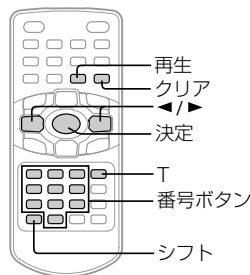
- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、操作手順が画面に表示されている場合は、その手順にしたがってください。
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った頭出しはできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンをTITLE(タイトル)ボタンと呼んでいる場合があります。

DVD-V VCD CD 前後のチャプター/トラックを頭出しする

スキップボタンを繰り返し押して、再生したいチャプター/トラック番号を出す

選んだチャプター/トラックから再生が始まります。

一つ先のチャプター/トラックの先頭から再生します。

現在のチャプター/トラックの先頭から再生します。
連続して2度押しすると、一つ前のチャプター/トラックの先頭から再生します。

DVD-V VCD CD 番号を指定して頭出しする

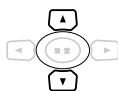
1 Tボタンを数回押して、「サーチ」の表示を出す

TV·CATV T

押すたびに、表示が変わります。

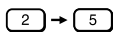
例：DVD-V

例：VCD CD

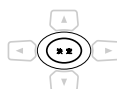
2 ▲/▼ ボタンを押して、頭出しの方法を選ぶ

タイトル、チャプター、トラックを頭出ししたい場合は、「タイトル／チャプター」、「トラック」を選びます。
見たい場面を、ディスクの経過時間を指定して頭出ししたい場合は、「タイム」を選びます。

3 番号ボタンを押して、頭出し先の番号を入力する

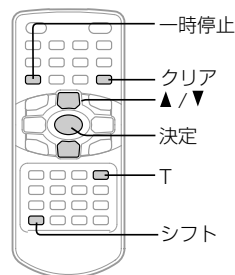
例：25を入力する

2 → 5

DVDビデオディスクでは、「タイトル」と「チャプター」の入力位置を ◄ / ► ボタンで切り換えられます。

4 再生ボタン、または決定ボタンを押す

選んだ箇所から再生が始まります。

お知らせ

- 番号を設定前に戻す場合は、シフトボタンを押しながら、クリアボタンを押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を使った頭出しはできません。
- ディスクや場面によっては、経過時間で頭出しできないことがあります。

頭出しサーチ（つづき）

目印をつけて頭出しする（ブックマーク機能）

■ 目印（ブックマーク）をつける

3箇所まで登録できます。

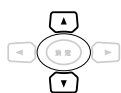
1 目印をつけたい箇所で、一時停止ボタンを押して、再生を一時停止させる

一時停止

2 Tボタンを数回押して、以下の表示を出す

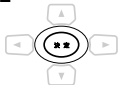
例

ブックマーク	1	--:--:--
ブックマーク	2	--:--:--
ブックマーク	3	--:--:--

3 ▲/▼ ボタンを押して、「ブックマーク」の番号（1、2、3）を選び、ブックマークしたい場面で決定ボタンを押す

空いている（「−−：−−：−−」表示）番号を選びます。

- 取り消すときは、Tボタンを押して表示を消します。

すでに登録済みの番号は、シフトボタンを押しながらクリアボタンを押すと、設定内容が消えて「−−：−−：−−」表示に変わります。

4 決定ボタンを押す

一時停止した箇所が、ブックマークとして登録されます。

- ブックマークは、電源を切ったり、ディスクカバーをあけると消えます。

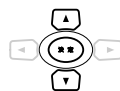
■ ブックマークの箇所を頭出しする

左の「目印（ブックマーク）をつける」を行って、あらかじめブックマークを登録しておいてください。

1 再生中または停止中に、Tボタンを数回押して、以下の表示を出す

例

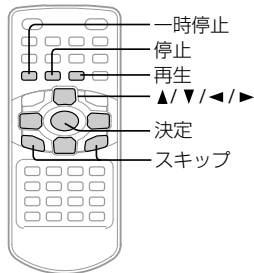
ブックマーク	1	00:12:50
ブックマーク	2	00:04:29
ブックマーク	3	00:21:36

2 ▲/▼ ボタンを押して、「ブックマーク」の番号（1、2、3）を選び、決定ボタンを押す

選んだ箇所から再生が始まります。

お知らせ

- ディスクや場面によっては、ブックマークに登録できないことがあります。

MP3/WMAオーディオファイルの再生

MP3/WMAオーディオファイルの再生ができます。

MP3/WMAオーディオファイルの再生

■ **準備**

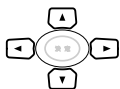
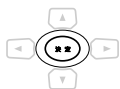
このプレーヤーに適合したMP3/WMA対応ディスクは以下のものに限られています。使用する前にお確かめください。

ディスクの種類：	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、SDメモリーカード、 マルチメディアカード、メモリースティック、xDピクチャーカード
サンプリング周波数：	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート：	WMA：48 kbps ～192 kbps(CBR) MP3：32 kbps ～ 320kbps(CBR)
フォーマット：	MODE 1
MP3ファイルシステム：	ISO9660レベル,UDF without interleave
ファイル名（MP3）：	8文字以下で、拡張子「MP3」が付け加えられていること。(例「○○○○○○○○.MP3」) “?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。 50バイト以下
ファイル名（WMA）：	8文字以下で、拡張子「WMA」が付け加えられていること。(例「○○○○○○○○.WMA」) “?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。 50バイト以下
ファイルの総数：	650以下
WMAコーデック方式版：	V2、V7、V8、V9(ステレオサウンドのみ)

1 MP3/WMAファイルが記録されているディスクまたはメモリーカードを入れる

メニューが表示されます。

※カードの挿入方法や、メモリーカードモードへの切換えについては35をご覧ください。

2 ▲/▼/◄/►ボタンで再生したいファイル名を選択する

3 決定ボタンを押す

再生が始まります。

■ **再生を停止する**

停止ボタンを押す

■ **再生を一時停止する**

再生中に、**一時停止**ボタンを押す

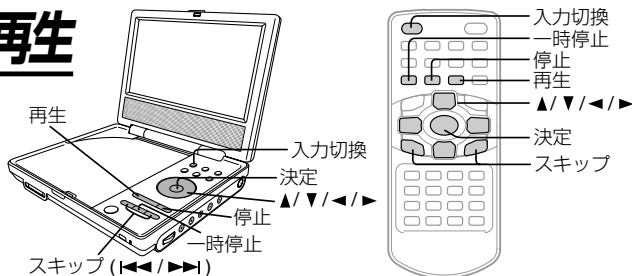
一時停止 II/II►

普通の再生に戻すには、再生ボタンを押します。

お知らせ

- ディスクによっては再生できないものがあります。
- 著作権保護されているWMAトラックは、再生できません。
- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力されるMP3/WMAファイルの音声は、「音声出力設定」に関係なく、リニアPCM音声で出力されます。58
- 停止ボタンを押して再生を停止したあとに、続けて再生ボタンを押した場合、再生は止めた位置からではなくその曲の最初から始まります。
- スキップ、リピート、ランダム の各機能も使えます。

JPEGファイルの再生

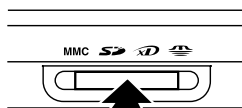
対応のディスクやメモリーカードなどに
記録されたJPEGファイルを再生できます。

JPEGファイルの再生

■ 準備

JPEG形式の画像が記録されたディスクまたはメモリーカードを準備してください。37

1 ＪPEGファイルの含まれたディスクをはめ、ディスクカバーを閉める

メニューが表示されます。
コダック　ピクチャーCDの場合、スライドショーが自動的にスタートします。また、メニューは表示されません。（次頁参照）

ＪPEGファイルの含まれたメモリーカードをカード挿入口に差し込む

対応メモリーカード
対応メモリーカードを挿入します。
カード挿入口にゆっくり水平に挿入してください。

メモリーカードを再生するには本機のモードを「カード」に切り換えます。

本体で切り換える場合：

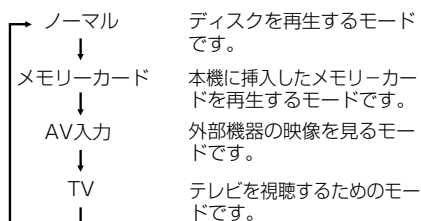
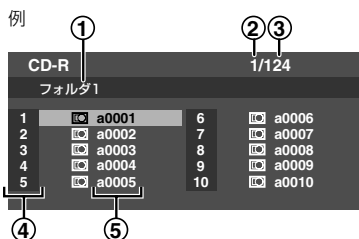
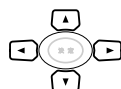
入力切換　本体の**入力切換**ボタンを押す
押すたびに、本機のモードが切り換わります。

リモコンで切り換える場合：

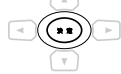
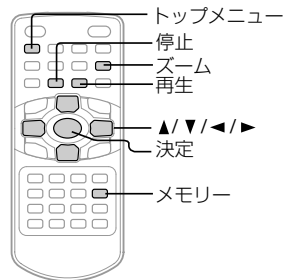
入力切換/表示　リモコンの**入力切換**ボタンを押す
入力切換ボタン押すたびに、本機のモードが切り換わります。

モード	説明
ノーマル	ディスクを再生するモードです。
メモリーカード	本機に挿入したメモリーカードを再生するモードです。
AV入力	外部機器の映像を見るモードです。
TV	テレビを視聴するためのモードです。

2 ▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して、ファイルを選ぶ

例

① フォルダ名
② 最後に選んだファイルの番号
③ ディスク内のファイル総数（最大1500）
④ ファイル番号
⑤ ファイル名

3 再生ボタン、または決定ボタンを押す

選んだ画像からスライドショーが始まります。最後まで終わるとトップメニューに戻ります。

■ スライドショーを停止する

停止ボタンを押す

■ スライドショーを一時停止する

再生中に、**一時停止**ボタンを押す

スライドショーに戻すには、再生ボタンを押します。

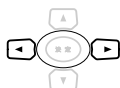
■ 他の画像に切り換えるには

再生中に、**スキップ**ボタンを押す

⏮：前の画像に切り換える
⏭：次の画像に切り換える

お知らせ
- ファイルのサイズによっては、画像の表示に時間がかかったり、画像が表示されないことがあります。

■ 画像を回転させる

再生中に、◄ / ► ボタンを押す

◄：画像が反時計回りに90度回転します。
►：画像が時計回りに90度回転します。

■ 画像を拡大する

再生中に、**ズーム**ボタンを押す

ズーム再生します。

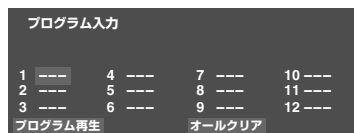
×2 → ×3 → ×4 → オフ

ズーム再生中、▲ / ▼ / ◄ / ►ボタンを押して画像を移動させることができます。
ズーム再生を終了するには、「オフ」が表示されるまで、ズームボタンを押してください。

■ 好きな順番で再生する

ファイルを選んで好きな順番で再生します。12ファイルまで設定できます。

1 再生中または停止中に、**メモリー**ボタンを押す
以下の画面が表示されます。

例

2 ▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して再生順の番号を選び、番号ボタンでファイルの番号を入力する
- 入力した番号を修正したいときは、ファイル番号を選び、シフトボタンを押しながらクリアボタンを押して番号を消してから、番号ボタンで入力し直します。
入力をすべて取り消したいときは、▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して「オールクリア」を選び、決定ボタンを押します。

3 手順2を繰り返して、ファイルを並べる

4 ▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して「プログラム再生」を選び、**決定**ボタンを押す
設定した順に再生が始まります。

プログラム再生を解除するには

停止ボタンを2回押して、再生を止める

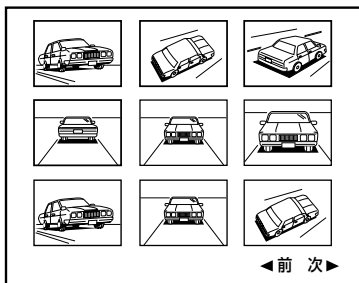
お知らせ
- ディスクやメモリーカードによっては機能しない場合があります。
- 設定した順番は、本機の電源を切ったり、ディスクカバーをあける、メモリーカードを抜き取るなどすると消えます。

JPEGファイルの再生(つづき)

JPEGファイルの再生(つづき)

■ サムネイルモード

1 再生中または停止中に、**トップメニュー**ボタンを押す
サムネイル形式の表示に変わります。

例：

2 ▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して、画像を選び、**再生**ボタンを押す
選んだ画像からスライドショーが始まります。

▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して「◄ 前」を選び、**決定**ボタンまたは**再生**ボタンを押すと、前の9枚の画像が表示されます。

▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して「次 ►」を選び、**決定**ボタンまたは**再生**ボタンを押すと、次の9枚の画像が表示されます。

停止ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

■ コダックピクチャーCDを再生する

コダックピクチャーCDを入れる
スライドショーが自動的に始まります。

■ランダムに表示するには

ランダムボタンを押す

ランダム

押すたびに、モードが切り換わります。

ランダムオフ：　普通の再生に戻ります。
ランダムオン：　ファイルを順不同に表示します。

■くり返し表示するには

リピートボタンを押す

リピート

リピートボタンをくり返し押して、リピートモードを選択します。

トラックリピート：選択したファイルを表示しつづけます。
ディスクリピート：選択したフォルダ内のファイルを繰り返し表示します。

対応JPEGファイル

本機でJPEGファイルが再生するディスクまたはメモリーカードは、以下のものに限られています。
使用する前にお確かめください。

- メディアの種類： CD-ROM、CD-R、CD-RW、SDメモリーカード、マルチメディアカード、メモリースティック、ｘDピクチャーカード
- ファイルシステム： ISO9660、UDF without interleave
- ファイル名： 8文字以下で、拡張子「JPG」が付け加えられていること。（例「○○○○○○○○.JPG」）
“？！＞＜＋＊}{`[@:]：；＼／．，”etc.など、特殊な文字が使われていないこと。
英数字のみで構成されていること。
- ファイルサイズ： １０Mバイト以下
- フォーマット： BASELINE,PROGRESSIVE
- 解像度： Baseline JPG:3072×2048
Progressive JPG:幅(高さ＋128)＜3300000
- 動作確認済みの対応ディスク： コダック　ピクチャーCD

お知らせ

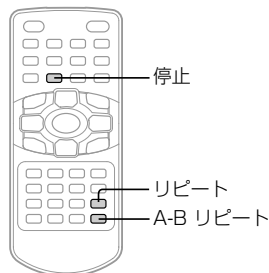
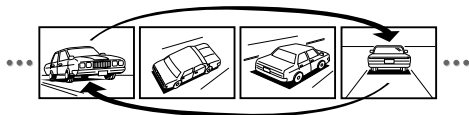
- 対応または動作確認済みのディスクやメモリーカードでも、状態などによっては動作しない場合があります。
- 「メモリースティックPRO」および「メモリースティックDuo」は、本機ではご使用になれません。

再生（応用編）

こんな使いかたもできます。

- リピート再生
- メモリー再生
- ランダム再生
- ズーム再生
- 音場効果の切換え
- 画質・画面表示の切換え
- アングルの切換え
- 字幕の表示と切換え
- 音声の切換え
- 使用状態の表示

リピート再生

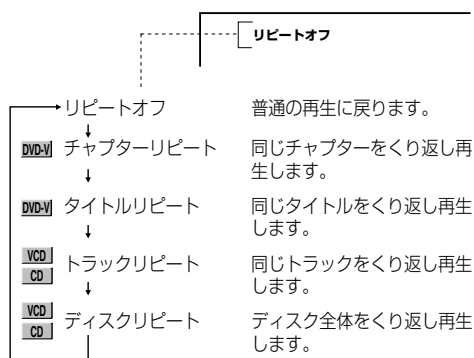
タイトルやその中のチャプターまたはトラックを繰り返し再生できます。

DVD-V VCD CD タイトル、チャプターまたはトラックを繰り返し再生する

再生中にリピートボタンを押す

リピート

押すたびに、リピートモードが以下のように切り換わります。

リピートオフ

	モード	説明
	リピートオフ	普通の再生に戻ります。
DVD-V	チャプターリピート	同じチャプターをくり返し再生します。
DVD-V	タイトルリピート	同じタイトルをくり返し再生します。
VCD CD	トラックリピート	同じトラックをくり返し再生します。
VCD CD	ディスクリピート	ディスク全体をくり返し再生します。

■ **普通の再生に戻すには**

「リピートオフ」が表示されるまで、繰り返し**リピート**ボタンを押す

停止ボタンを2回押すと、リピートモードを解除して再生を終了します。

お知らせ
- ディスクによっては、繰り返し再生できないものがあります。
- 電源を切ったり、ディスクカバーをあけると、繰り返し再生は解除されます。

DVD-V VCD CD 範囲を指定して繰り返し再生する

1 **繰り返し再生したい範囲の始点(A)で、A-Bリピートボタンを押す**

A-Bリピート

ABリピート_A

2 **繰り返し再生したい範囲の終点(B)で、A-Bリピートボタンを押す**

A-Bリピート

自動的にA点に戻り、指定した範囲(A-B間)の繰り返し再生が始まります。

ABリピート_B

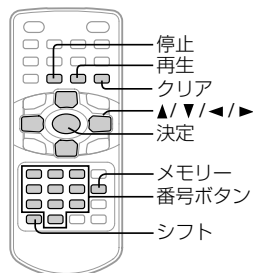
■ **普通の再生に戻すには**

A-Bリピートボタンを押す

停止ボタンを2回押すと、A-Bリピートモードを解除して再生を終了します。

お知らせ
- ディスクによっては、A-B間の繰り返し再生ができないものがあります。
- 選んだタイトルまたはトラックの中だけで、A-Bの設定ができます。
- ディスクによって、繰り返し再生したときの始点(A)の位置が変わることがあります。
- A-Bリピート再生中は、停止ボタンとA-Bリピートボタン以外の操作はできない場合があります。

メモリー再生

再生したいタイトルやチャプター、トラックを組み合わせ、好きな順番で再生できます。最大12件まで設定できます。

DVD-V VCD CD 好きな順番でタイトル、チャプター、トラックを設定し、再生する

1 停止中にメモリーボタンを押す

メモリー/微調整

メモリー再生の設定画面が表示されます。

例： DVD-V

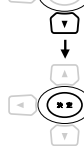
例： VCD CD

① タイトル番号
② チャプター番号
（チャプターが含まれていないときや、入力しようとした番号のチャプターが存在しないときは、入力は受けつけられません。）
③ トラック番号
（入力しようとした番号のトラックが存在しないときは、入力は受けつけられません。）

2 再生したい順番に番号を入力し、決定ボタンを押す

他の番号を入力するときは、▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して入力場所を選びます。

3 ▼ ボタンを押して、「プログラム再生」を選び、決定ボタンを押す

設定した順にメモリー再生が始まります。

メモリー再生中に、メモリー再生の設定画面を表示させると、メモリー再生が一時停止します。

■ 設定内容を変更するには

1 画面上で、▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して、変更したい項目にカーソルを合わせる
2 選んだ項目を、手順2を行って変更する

■ 設定内容を取り消すには

1 画面上で、▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して、取り消したい項目にカーソルを合わせる
2 **シフト**ボタンを押しながら、**クリア**ボタンを押す

■ メモリー再生から普通の再生に戻すには

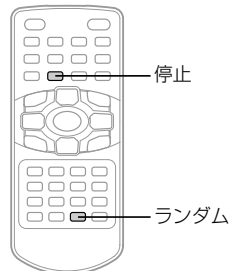
1 **メモリー**ボタンを押して、設定画面を表示させる
2 「停止」ボタンを押す

このとき、メモリー内容は解除されません。

お知らせ

- ディスクによっては、メモリー再生できないものがあります。
- 本機の電源を切ったときやディスクカバーをあけたときは、設定したメモリー内容が解除されます。

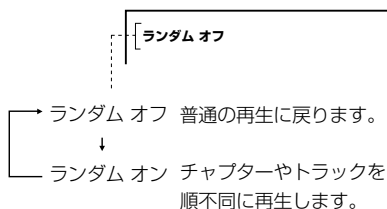
ランダム再生

チャプターやトラックを順不同に再生できます。

DVD-V VCD CD チャプターやトラックを順不同に再生する

ランダムボタンを押す

押すたびに、ランダムモードが以下のように切り換わります。

ランダム オフ

ランダム オフ　普通の再生に戻ります。
↓
ランダム オン　チャプターやトラックを順不同に再生します。

再生中、ランダムボタンを押すと、現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、ランダム再生が始まります。

■ 普通の再生に戻すには

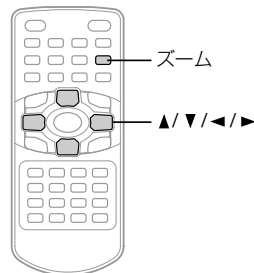
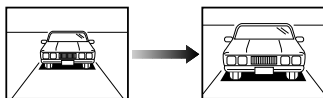
「ランダム オフ」が表示されるまで、繰り返し**ランダム**ボタンを押す

停止ボタンを2回押すと、ランダムモードを解除して再生を終了します。

お知らせ

- ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。
- 電源を切ったり、ディスクカバーをあけると、ランダム再生は解除されます。

ズーム再生

画面を拡大(ズーム再生)できます。

DVD-V VCD CD ズーム再生する

1 再生中、スロー再生中、一時停止中、早送り、早戻し中に、ズームボタンを押す

ズーム再生状態になり、ズームアイコンが表示されます。

例

x2

2 ズームの倍率と位置を選ぶ

倍率

以下の種類が選べます。
－拡大(2倍、3倍、4倍)
－通常再生(オフ)

ズームボタンを繰り返し押す

x2　2倍表示
↓
x3　3倍表示
↓
x4　4倍表示
↓
オフ　通常の大きさ

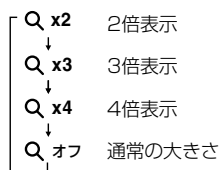
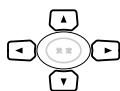
位置

移動する

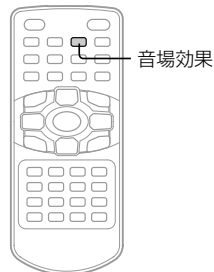
▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押す

■ 普通の再生に戻すには

「オフ」が表示されるまで、**ズーム**ボタンを繰り返し押す

お知らせ

- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示(マーク)などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
- 電源を切ったり、ディスクカバーをあけると、ズーム再生は解除されます。

音場効果の切換え

音場効果を簡単に切り換えられます。

DVD-V VCD CD 音場効果を切り換える

1 音場効果ボタンを押す

音場効果

設定画面が表示されます。

3D オフ

2 音場効果ボタンを押して、音場効果を選ぶ

音場効果

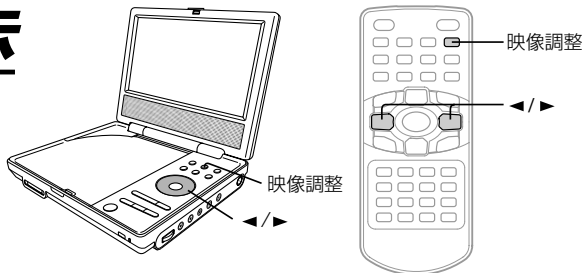
押すたびに、設定が切り換わります。

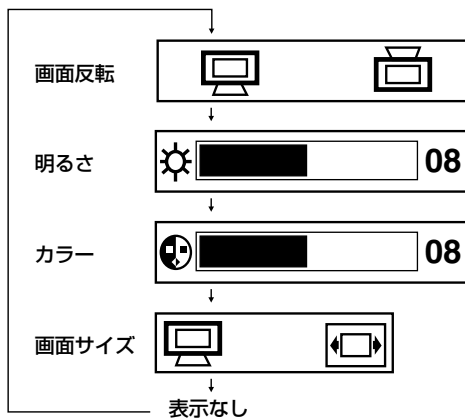
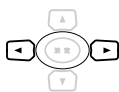
3D オフ： 普通の音声です。
3D オン： 本機のスピーカーや、2本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

お知らせ

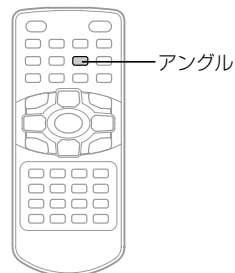
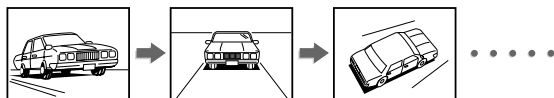
- 実際の音場効果は、音響設備によって異なります。
- 実際の音場効果は、ディスクによって異なります。

画質・画面表示の切換え

画質、画面表示をお好みに合わせて簡単に切り換えられます。

DVD-V VCD CD 画質・画面表示を切り換える

1 映像調整ボタンを押す
(本機の液晶画面で画像を見る場合に操作できます。)

2 ◄ / ► ボタンを押して、設定を変える

画面反転　: NORMAL ↔ INVERT(画面の上下反転)
明るさ　　: 0(暗)から 16(明)
カラー　　: 0(薄)から 16(濃)
画面サイズ: ノーマル
DVD ビデオディスクに記録された形状 (4:3、または 16:9) で表示します。
↓
フル
4:3 の形状で記録されたディスクを 16:9 にして表示します。

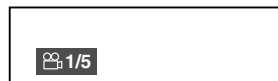
アングルの切換え

複数の角度(マルチアングル)で記録されている場所では、その中から画像を好きなアングルに切り換えられます。

DVD-V VCD CD アングルを切り換える

1 マルチアングルで記録されている部分の再生中に、アングルボタンを押す

マルチアングルで記録されている部分を再生すると、画面にアングルアイコン( )が表示されます。

例

1/5

再生中のディスクに、マルチアングルで記録されている部分が含まれていると、アングルアイコンとアングルの数がタイトルごとに表示されます。
⃠ が表示されたときは、マルチアングル記録部分ではないため、アングルの切換えはできません。

2 アングルボタンを押して、アングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

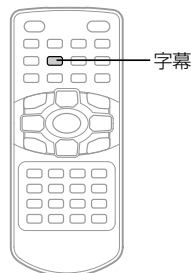
お知らせ

- アングルを選んでから、実際に画像のアングルが切り換わるまでには、少し時間がかかります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。

字幕の表示と切換え

ディスクに字幕が記録されていれば、再生画面に字幕を表示できます。

複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、その中から好きな字幕に切り換えられます。

こんばんは！ Good evening! Bonsoir! ・・・

DVD-V 字幕の言語を切り換える

1 再生中に、字幕ボタンを押す

現在の字幕設定が表示されます。

例

1/5 日本語

2 字幕設定の表示中に、字幕ボタンを押す

押すたびに、表示される字幕言語が切り換わります。

■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

再生中に、**字幕**ボタンを「オフ」と表示されるまで数回押す

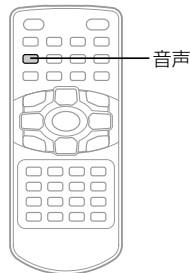
お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。また、字幕機能をオフに設定しても、非表示にできない場合があります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

お知らせ

- ディスクに記録されていない字幕言語を選んだときは、ディスクで決められている言語で再生します。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

音声の切換え

複数の音声が記録されているディスクでは、その中から好きな言語や聞きたい音声方式に切り換えられます。

DVD-V VCD CD 音声を切り換える

1 再生中に、音声ボタンを押す

音声

現在の音声設定が表示されます。

例

1/3 D 2 ch 日本語

音声方式

2 音声設定の表示中に、音声ボタンを押す

音声

押すたびに、ディスクに記録されている音声が切り換わります。

■ ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

再生中に、**音声**ボタンを押して、音声チャンネルを選ぶ

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行う場合があります。このときは、メニューボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- ディスクに記録されていない音声を選んだときは、ディスクで決められている音声を再生します。

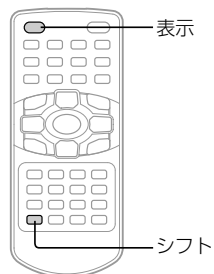
■ 出力される音声の種類（サンプリング周波数／量子化ビット数）

ディスク	音声方式		機能設定画面での「音声出力」54〉57〉と音声出力					
			「ビットストリーム」		「アナログ2ch」		「PCM」	
			ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV出力端子
DVDビデオディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
	リニアPCM	48 kHz	PCM	○	×	○	PCM	○
		96 kHz	PCM*	○	×	○	PCM*	○
	DTS		ビットストリーム	×	ビットストリーム	×	ビットストリーム	×
	MPEG1, MPEG2		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
ビデオCD	MPEG1		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
音楽用CD	リニアPCM 44.1 kHz/16 bit		PCM	○	PCM	○	PCM	○
	DTS		ビットストリーム	×	ビットストリーム	×	ビットストリーム	×

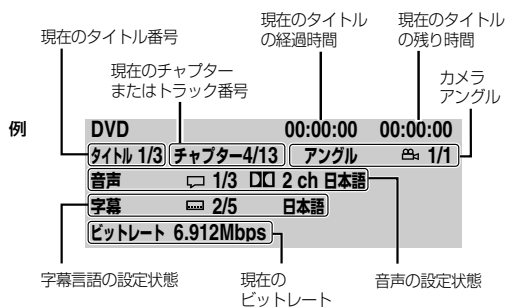
PCM*:ダウンサンプリング PCM

- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力される88.2kHz以上の信号は、以下の場合にはダウンサンプリングされた信号(44.1kHzまたは48kHz)になります。
  －音場効果を｢3D｣に設定したとき。44〉
  －著作権保護処理されたディスクのとき。
- 著作権保護されたディスクの場合、信号は16bitになります。

使用状態の表示

ディスクの使用状態や本機の操作内容などを、画面で確認できます。

DVD-V VCD CD 使用状態の表示

再生中に、シフトボタンを押しながら表示ボタンを押す

■ DVDビデオディスクを再生しているとき

■ 画面表示を消す

シフトボタンを押しながら**表示**ボタンを押す

■ ビデオCDまたは、音楽用CDを再生しているとき

例

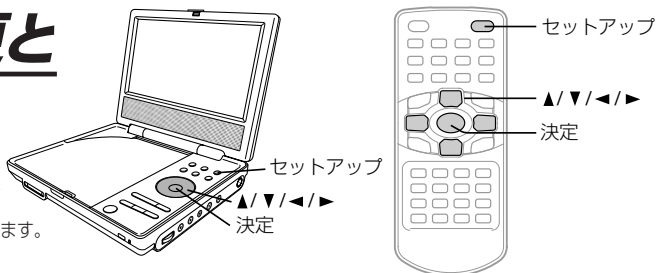
お知らせ

ディスクによっては、これらの機能が働かないものもあります。

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

初期設定の変更と機能の設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。
お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

DVD-V VCD CD 設定のしかた

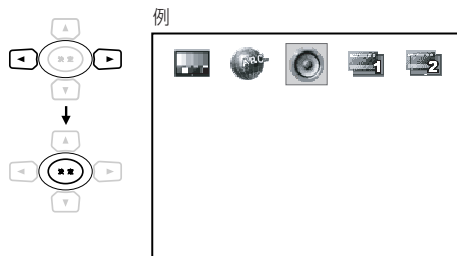
1 停止中に、セットアップボタンを押す

セットアップ

機能設定画面が表示されます。

2 ◄ / ► ボタンを押して、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

（次ページをご覧ください。）

例

3 ▲ / ▼ ボタンを押して、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

例

4 56ページ以降の説明を参照して、▲ / ▼ ボタンなどで設定し、決定ボタンを押す

例

5 決定ボタンを押して、手順2～4を繰り返して他の項目も設定する

6 セットアップボタンを押す

セットアップ

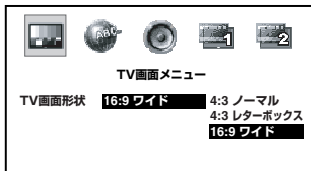
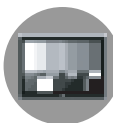
設定画面が消え、設定は終わりです。

項目		設定内容	設定の詳細ページ
TV画面メニュー			
TV画面形状	DVD-V	テレビに接続してご覧になるとき、画面の形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	56
言語メニュー			
画面表示言語	DVD-V VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。	56
字幕言語	DVD-V	各国語で記録されている字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	56
音声言語	DVD-V	各国語で記録されている音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	56
ディスクメニュー言語	DVD-V	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。	56
音声メニュー			
EQタイプ	DVD-V VCD CD	お好みの音響効果を選びます。	57
E.A.M	DVD-V VCD CD	音場効果を選びます。 E.A.M = Enhanced Audio Mode	57
D.R.C	DVD-V	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。 D.R.C = Dynamic Range Control	57
音声出力	DVD-V VCD CD	接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。	57
操作メニュー1			
パレンタルロック	DVD-V	パレンタルロック機能の内容や入/切を設定します。	58
PBC	VCD	ビデオCD（PCB付き）のメニュー画面で再生をするかどうかを設定します。	59
スクリーン・セーバー	DVD-V	スクリーン・セーバー（焼付き防止機能）を働かせるかどうかを設定します。	59
操作メニュー2			
出荷時設定	DVD-V VCD CD	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。	59

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

TV画面メニュー

TV画面形状	16:9 ワイド	4:3 ノーマル
		4:3 レターボックス
		16:9 ワイド

TV画面形状 DVD-V

4:3ノーマル：従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。
テレビ画面全体に再生画面を表示します。ワイド映像の場合は、画面の片側または両側の画像部分がカットされます。

4:3レターボックス：従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。
ワイド映像の場合は、上下に黒い帯を付けて表示します。

16:9ワイド：16:9ワイドテレビを本機に接続しているとき。
本機の液晶画面で見るとき。

お知らせ

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で「16:9ワイド」を選ぶと、ワイド映像が上下に伸びて表示されます。お使いのテレビに合わせて設定してください。

言語メニュー

画面表示言語	日本語	日本語
字幕言語	日本語	English
音声言語	日本語	
ディスクメニュー言語	日本語	

画面表示言語 DVD-V VCD CD

日本語：日本語で画面表示します。
English：英語で画面表示します。

字幕言語 DVD-V

日本語：日本語で字幕を表示します。
英語：英語で字幕を表示します。
オフ：字幕を表示しません。

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、メニューボタンを押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

音声言語 DVD-V

日本語：日本語で音声を再生します。
英語：英語で音声を再生します。

お知らせ

ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

ディスクメニュー言語 DVD-V

日本語：日本語でディスクメニューを表示します。
英語：英語でディスクメニューを表示します。

お知らせ

ディスクによっては、設定した言語のディスクメニューが記録されていないことがあります。この場合、ディスクメニューはディスクで初期設定されている言語で表示されます。

音声メニュー

EQタイプ	設定なし
E.A.M.	ノーマル
D.R.C.	オン
音声出力	アナログ 2ch

EQタイプ DVD-V VCD CD

お好みの音響効果を選びます。

設定なし：　音響効果は働きません。
ジャズ：　低音域を強調して落ち着いた音になります。
ホール：　コンサート会場のような残響効果が加わります。
スタジアム：　さらに残響効果を高めて音全体に広がりが出ます。

E.A.M. DVD-V VCD CD

音場効果をお好みに合わせて切り換えられます。

ノーマル：　普通の音声です。
3D：　本機のスピーカーや、2本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

お知らせ

リモコンの音場効果ボタンを押しても、同じ設定ができます。44

D.R.C. DVD-V

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。

オン：ダイナミックレンジ機能が働きます。
オフ：ダイナミックレンジ機能が働きません。

お知らせ

- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果レベルは、ディスクによって変わることがあります。

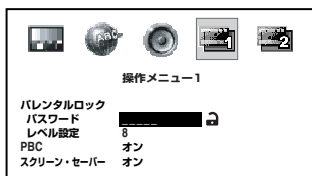
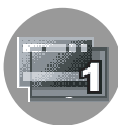
音声出力 DVD-V VCD CD

接続に合わせて選びます。
出力される音声の種類については、49ページをご覧ください。

ビットストリーム：ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。66 67
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

アナログ2ch：　AV出力端子で、テレビなどに接続しているとき。62

PCM：　2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。67
ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

設定の内容

パレンタルロック DVD-V

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し換えて再生されます。

- ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

■パレンタルロックの規制レベルを設定する

1）決定ボタンを繰り返し押して、パレンタルロックの規制レベルを選ぶ

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックの設定レベルを再生できるレベルに変更するか、機能を解除しないかぎり、再生できなくなります。たとえば、レベル7を設定すると、レベル8以上は、ロックされ再生できなくなります。
アメリカの規制レベルは、次のように対応しています。

8： Adult
7： NC-17
6： R
5： PG-R
4： PG-13
3： PG
2： G
1： Kid Safe

レベルは、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

2）▲/▼ボタンを押して、「パスワード」を選ぶ

3）番号ボタンを押して、任意の5桁の暗証番号を入力する

4）決定ボタンを押す

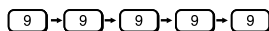
パスワードを設定すると、「🔒」が表示されます。

■パレンタルロックの規制レベルを変えるには

1）▲/▼ボタンを押して、「パスワード」を選ぶ

2）番号ボタンを押して、設定した5桁の暗証番号を入力したあと、決定ボタンを押す
パスワードが解除され、「🔓」が表示されます。
「■パレンタルロックの規制レベルを設定する」の手順を行ない、規制レベルを変更してください。

■暗証番号を変えるには

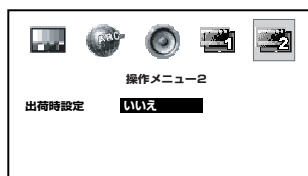
1）「パスワード」を選んだあとで、9ボタンを5回押す

暗証番号が解除されます。

2）番号ボタンで新しい5桁の暗証番号を入力する

PBC VCD

オン：ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使って再生するとき。
オフ：ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

スクリーン・セーバー DVD-V

オン：スクリーン・セーバーが働きます。
オフ：スクリーン・セーバーは働きません。

出荷時設定 DVD-V VCD CD

いいえ：設定は現状のままで選択を終了します。
はい：すべての設定を出荷時の状態に戻します。

設定の項目と映像調整の両方を出荷時の状態に戻したいときは、**セットアップ**ボタン、**クリア**ボタンの順に押してください。

接続

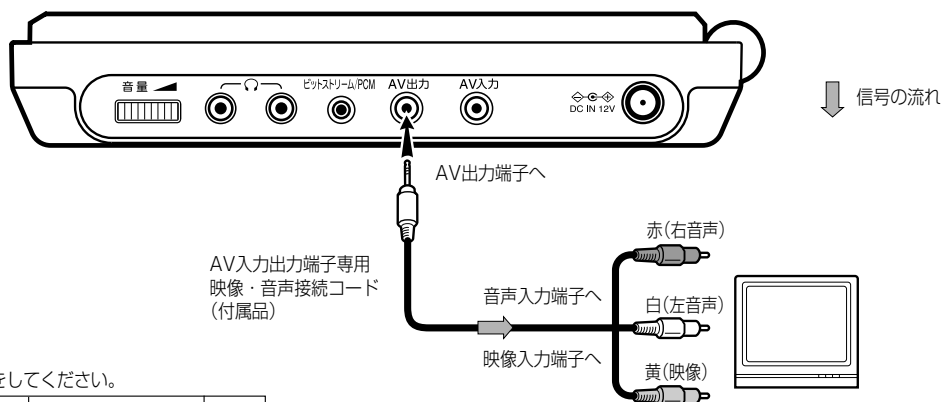
テレビやオーディオシステムに接続できます。
また、バッテリーパックを接続して使うこともできます。

テレビや オーディオ機器との接続

⚠ 警告

電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

本機の映像と音声をテレビにつないで楽しむ場合に接続します。出力される音声の種類については、49をご覧ください。

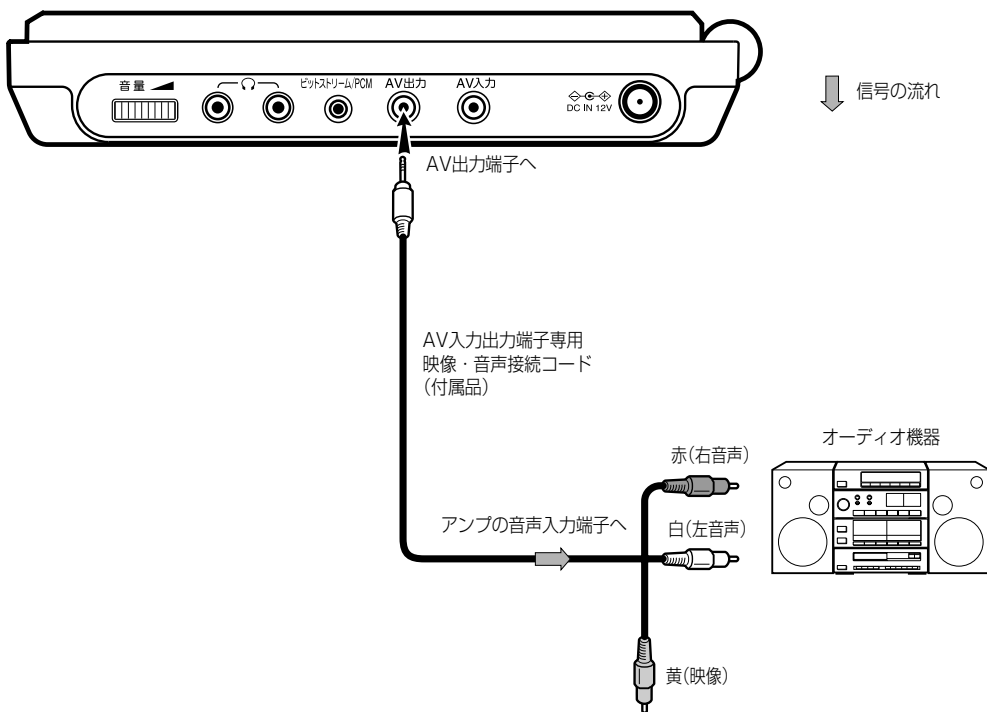
テレビとの接続

• 下の設定をしてください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「アナログ2ch」	54 57

お願い

• 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
• 接続するときは、必ず本体およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
• 本機とテレビは、直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きによって正常な画像にならないことがあります。

⚠注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因となることがあります。

オーディオ機器との接続

AV 出力端子やビットストリーム／PCM音声出力端子と、オーディオシステムの音声入力端子とを接続すると、つないだオーディオシステムでディスクの音声が楽しめます。
オーディオシステムとの接続については、65をご覧ください。

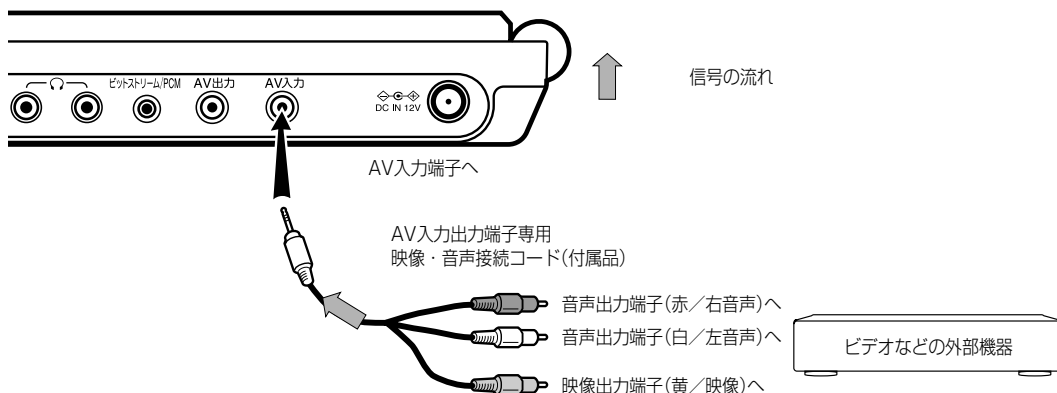
- 下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「ビットストリーム」または「PCM」	54 57

お願い

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量でスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源プラグやACアダプターを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。

外部機器の映像を見る

AV入力端子に接続した外部機器の映像を、本機の液晶画面で見ることができます。
外部入力に切り換えるには入力切換ボタンを押してください。62〉
外部入力をしている場合(「AV入力」の表示中)は、スクリーンセーバー機能とオートパワーオフ機能は働きません。

お知らせ

- 接続したビデオデッキやゲーム機などから規格外の信号が入力されると、正しい映像にならないことがあります。例えば、画面の標的を撃つシューティングゲームは、液晶画面の色表示の特性上、使用できない場合があります。

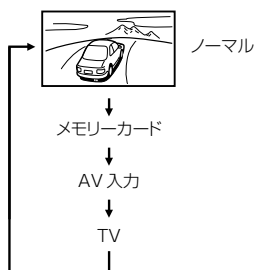
■ モードを切り換える

外部機器で本機の映像をご覧になりたいときは「AV入力」以外に切り換えておきます。

本体の**入力切換**ボタンを押す

入力切換

押すたびに、以下のように液晶画面が切り換わります。

入力切換/表示

ノーマル： 本機の画像を、本機の液晶画面で見るとき。
メモリーカード： 本機に挿入したカードを再生します。
AV入力： 接続したビデオデッキなどの外部機器からの映像を本機の液晶画面に表示します。
TV： 本機でテレビを見るとき。

お知らせ

- 本機の電源を入れたときは、入力切換が「ノーマル」に戻ります。
- ディスクを再生し、本機で見たいときは、入力切換を「ノーマル」にしてください。入力切換が「ノーマル」以外に設定されているとディスクの再生はできません。

ヘッドホーンの接続

ヘッドホーンで音声を楽しめます。

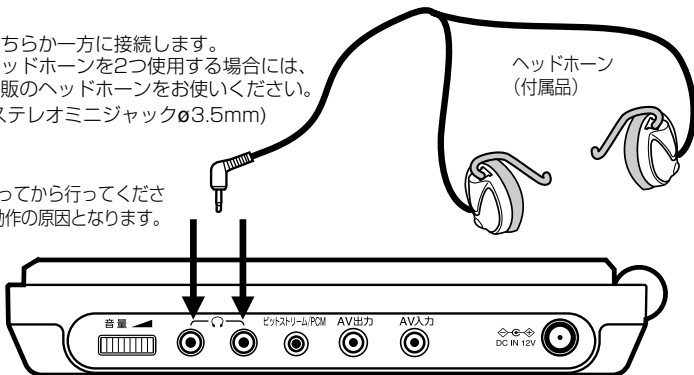
⚠注意

ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ヘッドホーンの接続
ステレオ小型プラグのヘッドホーンを接続します。接続するときは、いったん音量を下げてから、音量を調整してください。
再生が始まったら、お好みの音量に調整してください。

どちらか一方に接続します。
ヘッドホーンを2つ使用する場合には、市販のヘッドホーンをお使いください。
(ステレオミニジャックø3.5mm)

ヘッドホーン
(付属品)

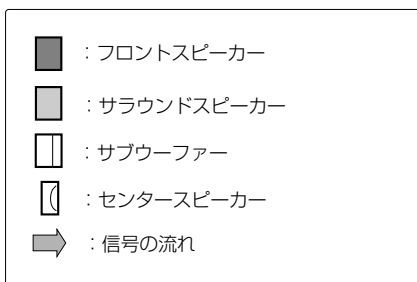
- ヘッドホーンの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。電源がはいった状態での抜き差しは、誤動作の原因となります。
- ヘッドホーンは二つ接続できます。

■開閉式クリップハンガーヘッドホーンの装着のしかた

1）ハウジングとクリップハンガーを開く
2）ハウジングを持って、耳の上から回転させるように、耳にかける
3）ハウジングを閉じる

他の機器との接続

お手持ちのオーディオシステムと接続して、迫力ある音響効果を楽しめます。

- テレビとの接続は 62 をご覧ください。
- 出力される音声の詳細については 49 をご覧ください。
- 図中の記号の意味は以下のとおりです。

：フロントスピーカー
：サラウンドスピーカー
：サブウーファー
：センタースピーカー
：信号の流れ

⚠注意

- 本機のビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル、DTSまたはMPEG2のデコード機能を搭載していないAVデコード製品を接続してお使いになるときは、機能設定画面で「音声出力」を必ず「PCM」にしてください。54 58 大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。
- DTS対応のディスク(音楽用CD)を再生すると、音声出力端子から過度のノイズが出力されることがあります。オーディオ機器を本機の音声出力端子に接続している場合は、スピーカーなどを破損することのないよう十分ご注意ください。DTSデジタルサラウンド音声をお楽しみになるときは、必ず本機のビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子にDTSデジタルサラウンドデコーダーを接続してください。

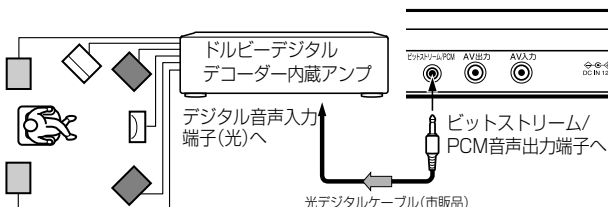
お願い

- 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子は、ドルビーデジタルレシーバーのAC−3RF入力へ接続しないでください。この入力端子は、レーザーディスク専用で本機のビットストリーム/PCM音声出力端子とは互換性がありません。
- 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子は、お使いのレシーバーまたはプロセッサーの「デジタル(光)」入力へ接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源プラグやACアダプターを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。

他の機器との接続（つづき）

ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する

ドルビーデジタル
最新の劇場公開映画で使われている代表的なサラウンド音響技術であるドルビーデジタルの臨場感が、ご家庭でも再現できます。本機とドルビーデジタルデコーダーを内蔵した6チャンネルアンプ、またはドルビーデジタルプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

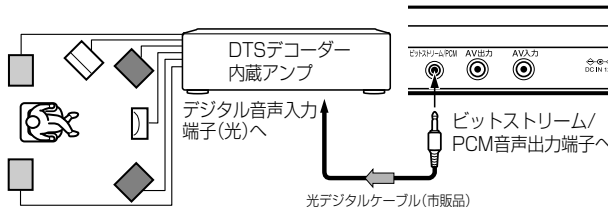
ドルビーデジタル
デコーダー内蔵アンプ
ビットストリーム/PCM　AV出力　AV入力
DC IN 12V
デジタル音声入力
端子(光)へ
ビットストリーム/
PCM音声出力端子へ
光デジタルケーブル(市販品)

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- ドルビーデジタル対応のDVDビデオディスクをお使いください。
- 下の設定をしてください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力」	「ビットストリーム」	54 57
音声方式 (音声ボタンで選択)	DD D	48 49

DTSデコーダー内蔵アンプと接続する

DTS
劇場公開映画などで使われている高品位のサラウンド音響技術であるDTSの臨場感が、DVDビデオディスクや音楽用CDで再現できます。本機とDTSデコーダーまたはDTSプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクや音楽用CDの迫力ある5.1チャンネルDTSサラウンドを楽しめます。

光デジタルケーブル(市販品)

DTSおよびDTS Digital Out はDigital Theater Systems, Inc. の商標です。

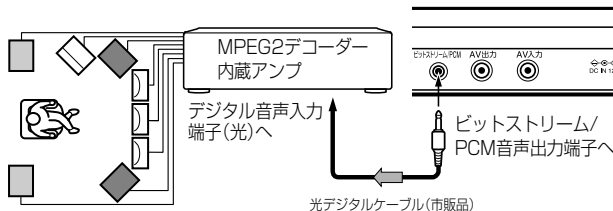
- DTS対応のDVDビデオディスクまたは音楽用CDをお使いください。
- 下の設定をしてください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力」	「ビットストリーム」	54 57
音声方式 (音声ボタンで選択)	DTS	48 49

他の機器との接続

MPEG2音声デコーダー内蔵アンプと接続する

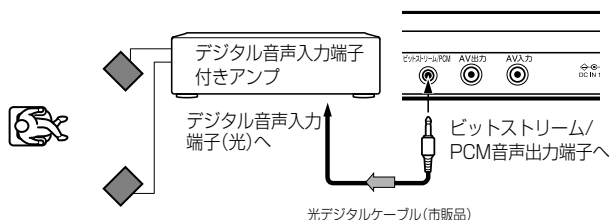
MPEG2

本機とMPEG2デコーダーを内蔵したアンプ、またはMPEG2プロセッサーを接続して、DVDビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

- MPEG2対応のDVDビデオディスクをお使いください。
- 下の設定をしてください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力」	「ビットストリーム」	54 57
音声方式 (音声ボタンで選択)	MPEG2	48 49

デジタル音声入力端子付きアンプと接続する

2チャンネルデジタルステレオ

デジタル音声入力端子付きアンプとスピーカーシステム(フロント右、左)につないで、2チャンネルデジタルステレオの迫力ある音響効果を楽しめます。

- 下の設定をしてください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力」	「PCM」	54 57

バッテリーパックを使う

⚠危険

- **指定されたバッテリーパックを使用すること**
  指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。
- **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないこと**
  破裂・火災の原因となります。
- **バッテリーパックは、下の説明どおりに正しく取り付けること**
  バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること。バッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

■ バッテリーパックの取り付けかた

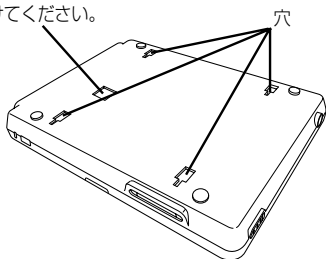
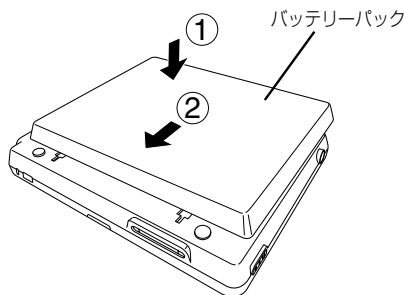
ACアダプターや外部機器などの接続コードを本体からはずした状態で、バッテリーパックを取り付けます。

1 **本機の電源を切る**

2 **本機を裏返しにして置く**

3 **本機背面の端子カバーをとる**

端子カバーをとる
バッテリーパックを使わないときは、端子カバーを取り付けてください。

穴

4 **バッテリーパックを裏返し、バッテリーパックのツメを本体の4か所の穴に差し込む(①)**
次に②の矢印の方向にバッテリーパックをカチッと音がするまでスライドさせる

お願い

使用後は、自動放電の防止や安全のため、本機からバッテリーパックをはずしてください。

■ バッテリーパックの充電

1 **本機の電源を切る**
本機の電源を入れたままバッテリーパックの充電をすることはできません。必ず本機の電源を切ってから充電してください。

2 **バッテリーパックを取り付ける**

3 **ACアダプターと電源コードを接続する** 22〉
充電が始まり、電源表示がオレンジ色に点灯します。
充電が終了すると、電源表示が消灯します。

お知らせ

- 充電中は、電源表示が消灯するまでACアダプターと電源プラグを抜かないでください。
- 充電中や使用中はバッテリーパックがあたたかくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーパックの電池残量が少なくなると、バッテリー表示が画面に表示されます。
- 充電は周囲の温度が5℃～35℃で行ってください。

■ バッテリーパックの充電時間の目安

約3.5時間

バッテリーパックは、本機の電源が 切れているときだけ充電ができます。充電時間は、バッテリーパックの状態や周囲の温度などによって変わります。

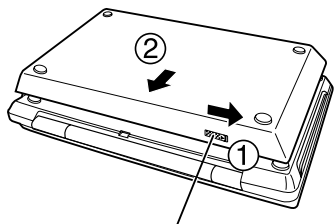
■ バッテリーパック使用時の連続再生時間

最大約4時間

上記は目安であり、数値を保証するものではありません。
(25℃、ヘッドホーン使用、新品のバッテリーパック使用時)

- 連続再生時間は、あくまで目安であり、バッテリーパックの状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると連続再生時間が短くなります。

■ バッテリーパックのはずしかた

1 本機の電源を切る
2 ACアダプターが接続してあれば本機からはずす
3 本機を裏返しにして置く
4 バッテリーパックのロックスイッチを①の矢印の方向にスライドさせて、バッテリーパックを②の矢印の方向にずらして取りはずす

5 本体背面の端子カバーを取り付ける

お願い

- 端子カバーは電極が針金などの金属に触れてショートを防ぐためにも、必ず取り付けてください。もし、端子カバーが無くなってしまった場合は、背表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。
- 本機の動作中(電源表示が緑色またはオレンジ色に点灯中)は、バッテリーパックを取りはずさないでください。

■ バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しいバッテリーパックをお求めください。
お求めについては、お買い上げの販売店または背表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。(形名:SD-PBP17J)

■ バッテリーパックのリサイクルについて

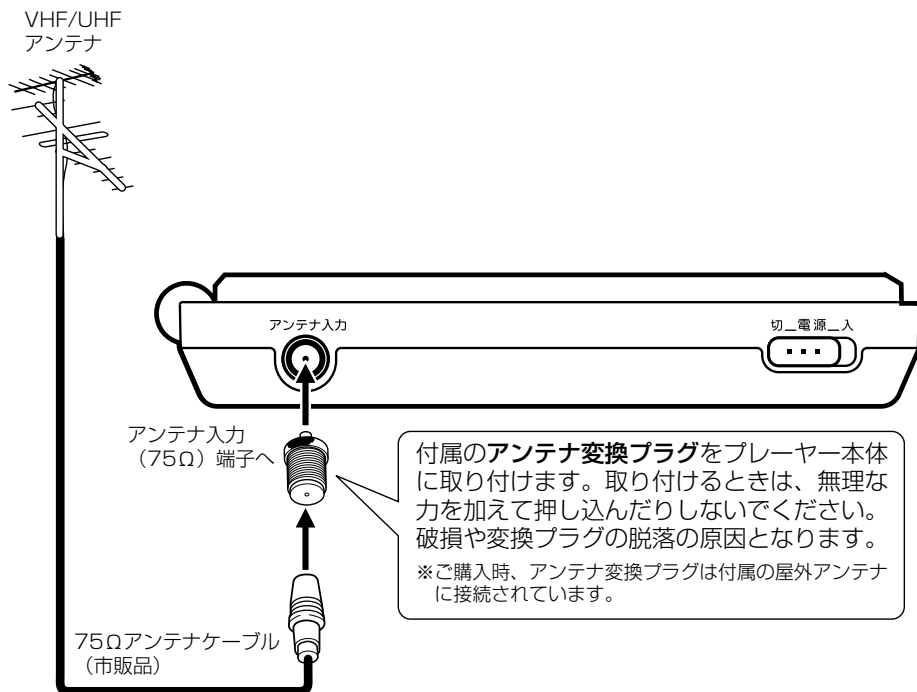
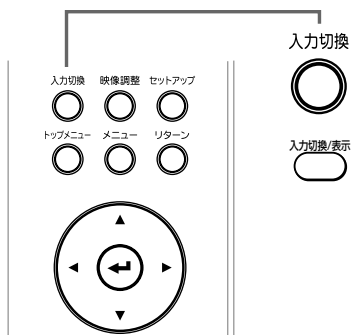
不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。
その場合、ショート防止のために電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。

Li-ion

バッテリーパック(充電式電池)の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先
社団法人　電池工業会
TEL： 03 (3434) 0261
ホームページ： http://www.baj.or.jp

バッテリーパックを使う

テレビチューナーを使う

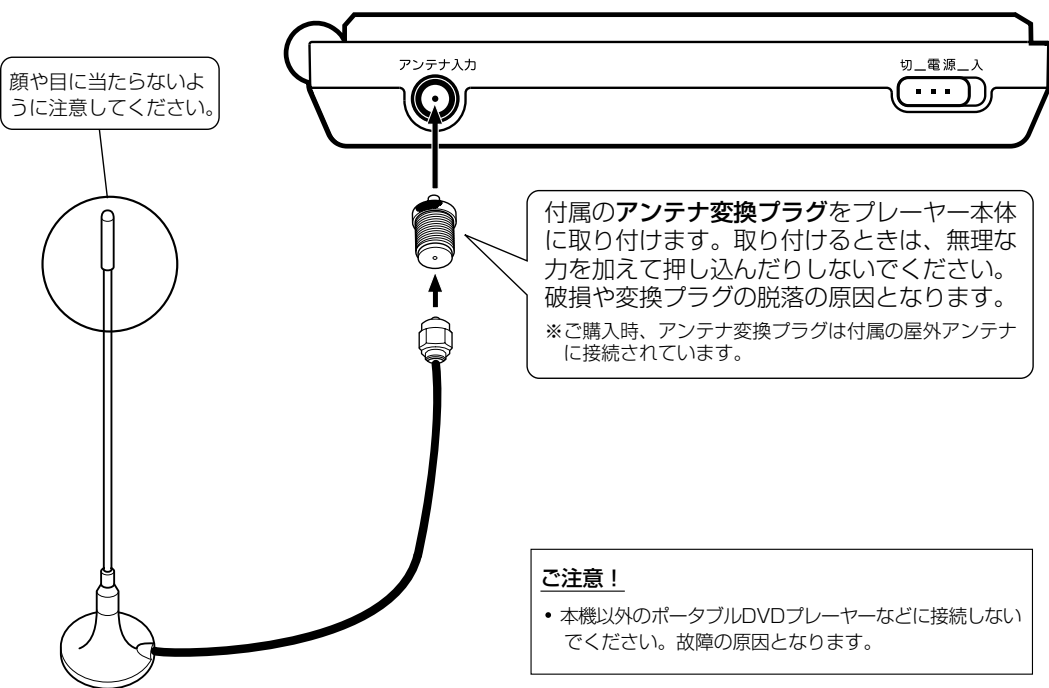
屋内でテレビを見るときの接続

本体またはリモコンの「入力切換」ボタンを繰り返し押して、「TV」を選びます。(切換時に、ノイズが聞こえることがあります。)

「入力切換」ボタンを押すたびに液晶画面が変わります。
「ノーマル」→「メモリカード」→「AV入力」→「TV」…

- 電源を入／切すると、設定が「ノーマル」に戻ります。

屋外でテレビを見るときの接続

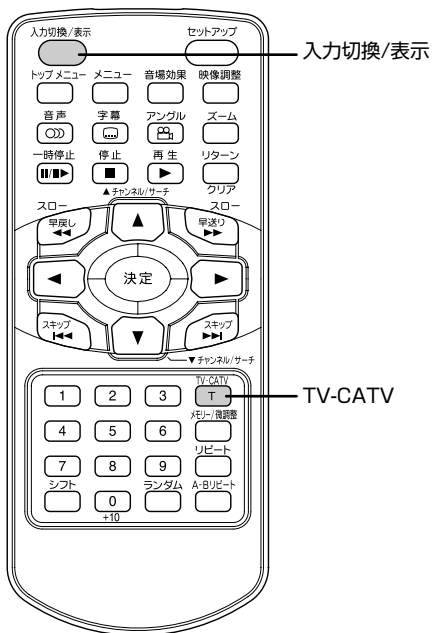
屋外で使うときは、ポータブルDVDプレーヤー本体に付属のバッテリーパックを取り付けて、あらかじめ十分に充電しておいてください。68

ご注意！

- 本機以外のポータブルDVDプレーヤーなどに接続しないでください。故障の原因となります。

本体またはリモコンの「入力切換」ボタンを繰り返し押して、「TV」を選びます。70

テレビチューナーを使う（つづき）

チャンネルを設定する(オートプリセット)

地上アナログ放送、ケーブルテレビの受信可能なチャンネルを自動的に設定して記憶させせます。（オートプリセット）

1 「入力切換」ボタンを繰り返し押して、「TV」を選ぶ

2 「TV/CATV」ボタンを押して、オートプリセットをする放送の種類を選ぶ

※ 本体の「トップメニュー」ボタンでも選べます。

TV　　：VHF/UHFの地上アナログ放送
CATV　：ケーブルテレビ

- 「TV」「CATV」は、ポータブルDVDプレーヤーの画面上に表示されます。

3 本体の「セットアップ」ボタンまたはリモコンの「セットアップ」ボタンを長押しする

受信できるチャンネルを自動的に探して記憶します。

- オートプリセットを行なうと、設定済みのチャンネルはすべて消えます。
- 電波が弱いと、受信できない場合があります。

受信できる範囲

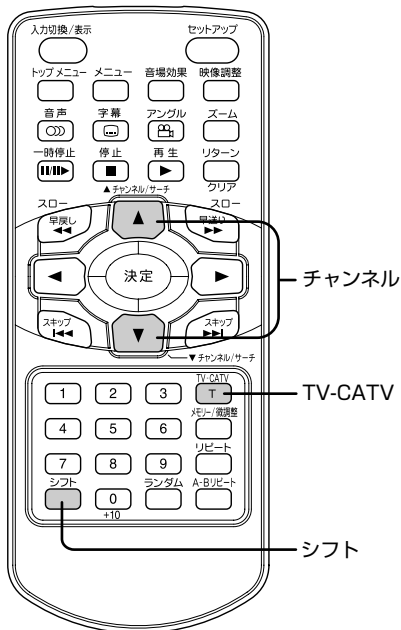
VHF　：1～12チャンネル
UHF　：13～62チャンネル
CATV ：C13～C63チャンネル

- テレビ放送は、上記NTSC方式の地上アナログ放送だけに対応しています。
そのほかの放送には対応しておりません。

■ チャンネルの微調整をするときには、74〉ページをご覧ください。

テレビを見る

■ 準備

- 入力切換ボタンで「TV」を選んでください。70
- チャンネル設定をしてください。72

屋外で使うときには

本体に取りつけたアンテナの方向を変えて、受信状態がなるべく良くなるように調整してください。（電波の弱い地域や移動しているときなどは、受信状態が不安定になります。）

1 「TV/CATV」ボタンを押して、見たい／聴きたい放送の種類を選ぶ

※ 本体の「トップメニュー」ボタンでも選べます。

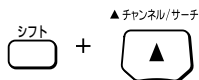
TV　：VHF/UHFの地上アナログ放送
CATV　：ケーブルテレビ

2 「チャンネル」ボタンで選局する

■オートプリセットされている場合

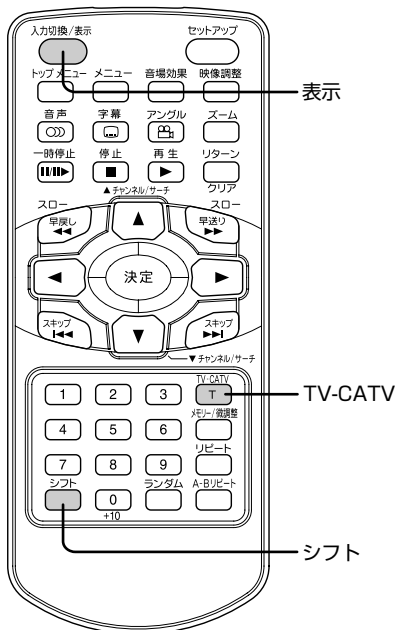
チャンネル設定されたチャンネルを「チャンネル（▲/▼）」ボタンで切り換えます。

※ 本体の方向(切換)ボタン（▲/▼）でも選局できます。

■オートプリセットされていない場合、または屋外で使うときなどにその地域で受信できるチャンネルを見る場合

：「シフト」ボタンを押しながら、「サーチ（▲）」ボタンを押すと、受信できるチャンネルを順方向にサーチします。チャンネルが見つかるとサーチを終了します。ちがうチャンネルを見たいときは、もう一度ボタンを約１秒押し続けて、受信できるチャンネルをサーチします。

：「シフト」ボタンを押しながら、「サーチ（▼）」ボタンを押すと、受信できるチャンネルを逆方向にサーチします。

テレビチューナーを使う（つづき）

■ 現在選ばれているチャンネルを確認する

「シフト」ボタンを押しながら、「表示」ボタンを押す

現在選ばれているチャンネルの番号が画面上に表示されます。

- 「TV/CATV」ボタンを押すと、地上アナログ放送、CATVの表示が切り換わります。

TV　　：VHF/UHFの地上アナログ放送
CATV ：ケーブルテレビ

■ 受信チャンネルの微調整をする

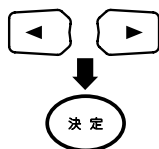
現在表示しているチャンネルを微調整します。
画像や音声が一番きれいになるように調整してください。
（受信状態によっては、調整してもきれいにならない場合があります。）

1) 微調整したいチャンネルを選局する73

2)「微調整」ボタンを押す

メモリー/微調整

微調整の画面になります。
（FINE-TUNEが表示されます。）

3) 左右ボタンで調整し、「決定」ボタンを押す

「決定」ボタンを押すと、微調整した設定が記憶されます。

- 微調整を中止する場合は、もう一度「微調整」ボタンを押してください。（FINE-TUNEが消えます。）

テレビチューナーを使う

地上デジタル放送への対応について

●本機は地上デジタル放送の受信はできません。
●地上デジタル放送の開始にともない、現在の地上アナログ放送のチャンネルが変更される場合があります。その際には、受信チャンネルの設定を変更する必要があります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

●デジタル放送への移行スケジュール
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は、2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

カーアダプターを使う

⚠注意

- **24V車で使用しないこと**
  カーアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。
  これを守らないと、火災の原因となります。カーアダプターを使用するときは、必ず車の取扱説明書をよくお読みください。
- **本体にバッテリーパックを取り付けて、カーアダプターで充電しないこと**
  発煙、火災、感電の原因となります。
  また、車のバッテリー等への影響が発生します。

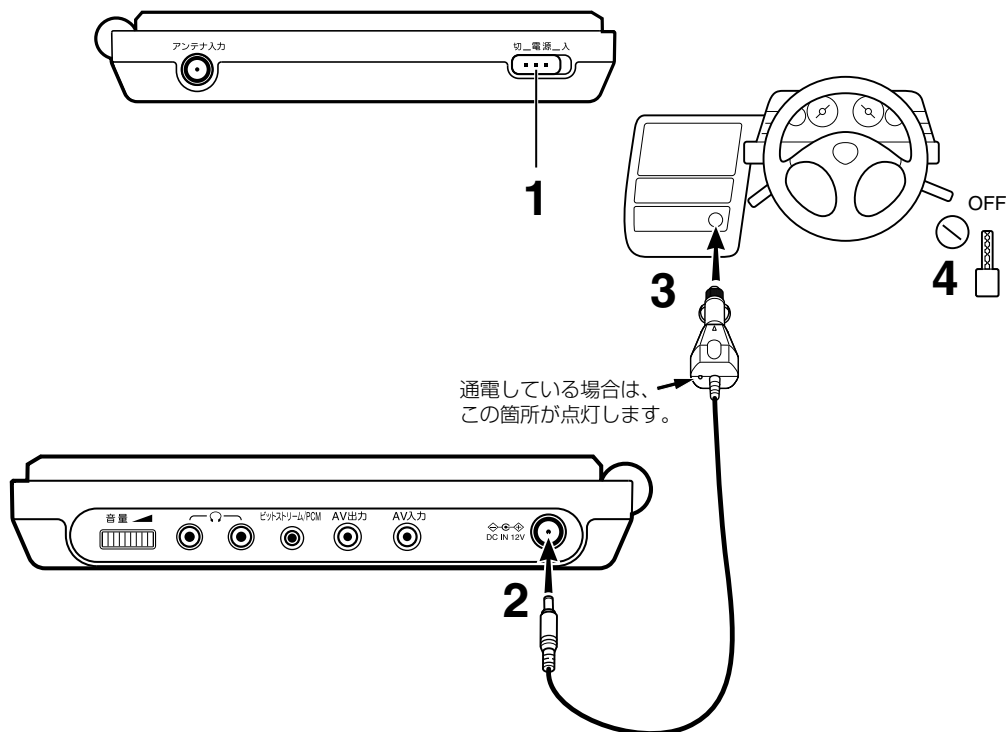
カーアダプターを使う

ポータブルDVDプレーヤー本体を自動車などで使う場合に、シガーライターソケットから電源を供給するアダプターです。

■ 接続方法

1 **ポータブルDVDプレーヤー本体の電源を切る**
2 **ポータブルDVDプレーヤー本体の電源入力端子にカーアダプターのプラグを差し込む**
3 **シガーライターソケットにカーアダプターのプラグを差し込む**
4 **車のエンジンをかけて、シガーライターソケットに通電させる**
車種によってはエンジンをかけなくても通電する場合があります。車の取扱説明書をご覧ください。

5 **はずすときはカーアダプターのプラグをポータブルDVDプレーヤーから抜き、シガーライターソケットからカーアダプターのプラグを抜く**

通電している場合は、この箇所が点灯します。

■ 仕様

動作温度：5～35℃
動作湿度：30～80%
保管温度：-10～60℃
保管湿度：20～80%

お知らせ

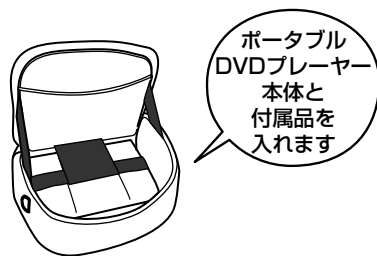
- 移動中の車中ではポータブルDVDプレーヤー本体を動作させないでください。振動によって、正常に動作しない場合やディスクに傷がつく場合があります。
- 人のいない車内など、高温になる場所にカーアダプターを放置しないでください。
- 車のエンジンを切るときは、カーアダプターをシガーライターソケットから抜いてください。
- 使用したあとは、シガーライターソケットとポータブルDVDプレーヤー本体からカーアダプターを抜いてください。
- 車種によっては、カーアダプターのプラグがシガーライターソケットに合わない場合があります。無理に取り付けたりしないでください。
- カーアダプターに強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- シガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、必ずカーアダプター本体を持って抜いてください。
- 車のエンジンを切ったまま、カーアダプターを使ってポータブルDVDプレーヤーを使用しないでください。車のバッテリーの消耗の原因となります。
- 車種やシガーライターの位置によっては、カーアダプターが取り付けられない場合があります。

キャリング ケースを使う

キャリングケースを使う

ポータブルDVDプレーヤー本体を持ち運ぶときに使うバックです。

■ 持ち運ぶとき

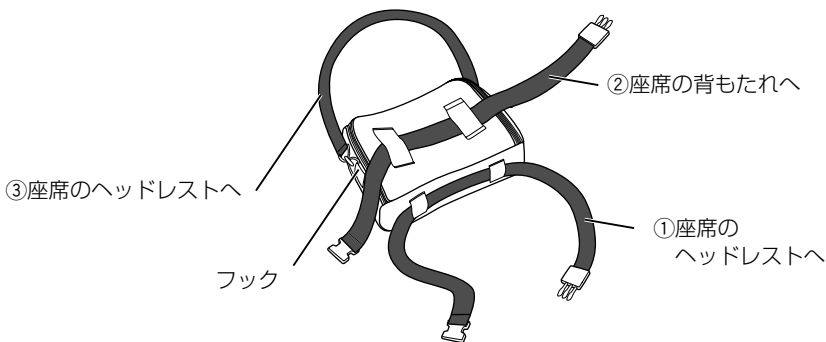
1 キャリングケースにポータブルDVDプレーヤー本体を入れる

2 取っ手をしっかりとにぎって持ち運ぶ

お知らせ

- キャリングケースのチャックをしっかりとしめてお使いください。
- キャリングケースには、ポータブルDVDプレーヤー本体と付属品以外のものは入れないでください。

■ 車の座席への取り付けかた

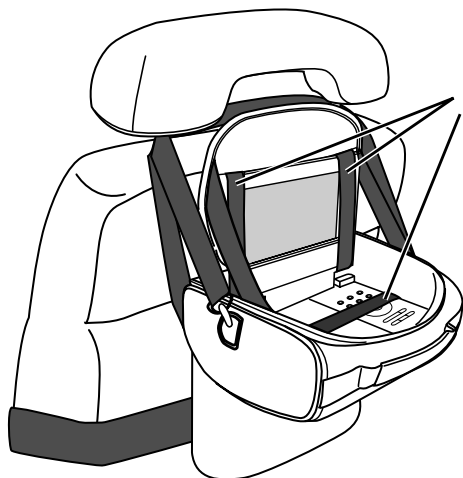
キャリングケースを座席に取り付けたり、取りはずしたりするときは、ポータブルDVDプレーヤー本体を入れたままにして作業しないでください。

1 キャリングケースにベルト①、②を通す
ベルト③はフックにかける

2 ①、②、③のベルトを座席に取り付ける

• ベルトの長さは、座席に合わせて調整してください。

キャリングケースを使う（つづき）

3 **ポータブルDVDプレーヤー本体をキャリングケースに置く**

しっかり固定されていることを、確認してください。

ポータブルDVDプレーヤー本体をベルトで固定する
- ポータブルDVDプレーヤー本体が水平になるように、ベルトの長さを調整してください。

お知らせ

- 走行中は車のシートから取りはずしてください。急停車などのときにぶつかって、けがの原因となります。
- 人のいない車内など、高温になる場所にポータブルDVDプレーヤー本体を入れたままキャリングケースを放置しないでください。
- 車種によっては、キャリングケースが座席に取り付けられない場合があります。無理に取り付けたりしないでください。
- キャリングケースのベルトやチャックなどを強く引っぱったりしないでください。破損の原因となります。

その他

- 故障かな…？と思ったときは
- 仕様
- 保証とアフターサービス

故障かな…？と思ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状と処置

症状	原因	処置	参照ページ
電源がはいらない。	• ACアダプターまたは電源プラグが抜けている。	• ACアダプターまたは電源プラグをしっかりと差し込む。	**22**
	• バッテリーパックがはずれている。	• バッテリーパックを取り付ける。	**68**
	• バッテリーパックが充電されていない。	• バッテリーパックを充電する。	**68**
液晶画面が自動的に消えた。	• オートパワーオフ機能が働いた。	• 電源を入れ直す。	**27**
画像が出ない。（本機の液晶画面以外で）	• 接続しているテレビの入力切換が正しくない。	• テレビの入力切換を、本機からの画像が映るように切り換える。	**–**
映像や音声が出ない。（テレビチューナーを使う場合）	• 正しくアンテナを接続できていない。	• 正しくアンテナを接続する。	**70, 71**
	• オートプリセットしていない。	• オートプリセットして、受信可能なチャンネルを設定する。	**72**
音声が出ない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の入力切換が正しくない。	• 音声接続コードをつないでいる機器の入力切換を、本機からの音声が入力されるように切り換える。	**–**
	• ボリュームが小さすぎる。	• 音量ダイヤルで調節する。	**25**
	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源がはいっていない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる。	**–**
	• 音声出力が正しく設定されていない。	• 音声出力を正しく設定する。	**48, 54 57**
ディスク再生中、画像や音声が乱れることがある。	• ディスクがよごれている。	• ディスクを取り出し、きれいにする。	**16**
	• 早送り、早戻しをした。	• 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。	**–**
	• 再生中に衝撃を与えた、または移動した。	• 画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。正常な画像や音声に戻らないときは、一度停止させたあと、もう一度再生してください。	**–**
	• ディスクがしっかりとはまっていない。	• ディスクをいったんはずし、もう一度はめ直す。	**24**
画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。（本機の液晶画面以外で）	• コピー防止機能が働いている。	• 本機とテレビを直接接続する。	**62**
再生が始まらない。	• ディスクがはいっていない。	• ディスクを入れる。	**24**
	• 本機で再生できないディスクがはいっている。	• 再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。	**2, 15**
	• ディスクを裏返しに入れている。	• 再生面を下にして入れる。	**24**
	• ディスクがななめにはいっている。	• ディスクをきちんと収まるように入れる。	**24**
	• ディスクがよごれている。	• ディスクをきれいにする。	**16**
	• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックを解除、または規制レベルを変更する。	**58**
	• 本機の入力の切換を「AV入力」に設定している。	• 入力切換ボタンを押して、本機の液晶画面に画像が出るようにする。	**64**
ディスクで決められたとおりの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、メモリー再生などをしている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。	**–**

症状	原因	処置	参照ページ
操作ボタンを押しても動作しない。	• 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	• 電源ボタンで電源を入り切りしてみる。または、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。	ー
リモコンが動かない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本機の受光部に向ける。	21
	• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約3m以内のところで操作する。	21
	• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。	21
	• 本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている。	• 本体を直射日光などを避けるような場所に置く。	21

仕様

本体部／端子部／液晶画面部／付属品

[本体部]

電源	入力端子 DC12V（定格電流：2A（最大：バッテリーパック充電時）） AC100V　50/60Hz（付属電ACアダプター使用時）
質量	770g
外形寸法	幅190×高さ28×奥行145mm（突起部除く）
信号方式	日米標準NTSCカラーテレビジョン方式
使用レーザー	半導体レーザー　波長650nm/795nm
音声周波数特性（デジタル音声）	DVDリニア音声　：48kHz サンプリング 4Hz～22kHz (JEITA) ：96kHz サンプリング 4Hz～44kHz (JEITA)
使用条件	温度：5℃～35℃、動作姿勢：水平
受信チャンネル	VHF: 1～12、UHF: 13～62、CATV: C13～C63

[端子部]

映像出力（AV出力）	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、AV出力小型端子（ø3.5mm）×1
音声出力（ビットストリーム／PCM音声出力端子）	光コネクター（ø3.5mm）×1
映像入力（AV入力）	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、AV入力小型端子（ø3.5mm）×1
ヘッドホーン端子	ステレオミニジャック（ø3.5mm）×2
アンテナ入力	F型コネクタ、75Ω（注：変換コネクタを含む）

[液晶画面部]

画面サイズ	7型
表示方式	透過型TN形カラー
駆動方式	アモルファスシリコンTFT（薄型トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数	横480×縦234ピクセル（有効画素率99.99%以上）

[付属品]

AV入力出力端子用映像・音声接続コード 1本
ワイヤレスリモコン(MEDR17JX) 1個
コイン型電池（CR2025） 1個
ACアダプター（ADPV16A） 1個
電源コード 1本
バッテリーパック(SD-PBP17J) 1個
ヘッドホーン 1個
付属テレビチューナー専用アンテナ .... 1本（アンテナ変換プラグ1個）
カーアダプター 1個
キャリングケース 1個
取扱説明書 1冊

・意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
・この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なります。
・本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名表示をしています。

商品の保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、ポータブルDVDプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～持ち込み修理

82、83ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参のうえ修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品　　名	ポータブルDVDプレーヤー
形　　名	SD-P1700SJ
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	

便利メモ	お買い上げ店名	☎(　　)　　―

お客様へ･･･おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
+	
部品代	修理に使用した部品の代金です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

上記以外で、転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トウシバ ヨイ）

電話受付：365日・24時間受付

(※フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。)

※携帯電話・PHSからのご利用は

東日本地区(北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県)044-543-0220(通話料がかかります)

西日本地区(上記以外) 06-6440-4411(通話料がかかります)

新商品などの商品選びや、本機に関する取扱い方法などのご相談

上記についてのお問い合わせは

『東芝DVDインフォメーションセンター』

(一般回線からのご利用は) フリーダイヤル(通話料無料) **0120-96-3755**

(フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません)

(携帯電話からのご利用は) ナビダイヤル(通話料有料) **0570-00-3755**

(PHS・一部のIP電話などでは、ご利用になれない場合がございます)

月～土　10:00～20:00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)

日曜日・祝日　10:00～16:00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)

- 「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社もしくは協力会社より対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。
J PM0026030011